

第7回神奈川県安全性向上委員会

議事次第

日時：平成22年12月9日（木）10:00～12:00

場所：横浜国道事務所大会議室

1. 開 会

2. 挨 捶

3. 議 事

- 1) 第6回委員会の概要
- 2) アンケート調査結果の報告
- 3) 新たな交通安全課題箇所（案）の提示
- 4) アンケート重複意見箇所の扱いについて

4. 閉 会

資料

- 資料-1 神奈川県 安全性向上委員会
- 資料-2 アンケート・ヒアリング調査資料
- 資料-3 新たな交通安全課題箇所（案）
- 資料-4 アンケート重複意見箇所の事故データ

参考資料

- 参考-1 設立趣意書
- 参考-2 規約

その他資料

- 委員名簿
- 座席表

神奈川県安全性向上委員会 委員名簿

◎ 横浜国立大学大学院工学研究院 准教授	岡村 敏之
(社) 神奈川県安全運転管理者連合会 常務理事	羽太 洋一郎
(財) 横浜市交通安全協会 常務理事	河野 昭雄
(社) 川崎市交通安全協会 専務理事	松浦 正寿
(社) 神奈川県トラック協会 専務理事	大川 充麿
(社) 神奈川県タクシー協会 専務理事	会田 辰三郎
(社) 神奈川県バス協会 常務理事	山崎 利通
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所長	和泉 晶裕
国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所長	秋山 均
国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所長	吉田 秀範
神奈川県警察本部交通部交通規制課長	柳川 浩介
神奈川県安全防災局安全安心部くらし安全交通課長	怒田 伸行
神奈川県県土整備局道路部道路管理課長	三浦 雅彦
横浜市道路局道路部長	末廣 良和
川崎市建設緑政局道路河川整備部担当部長	江澤 一夫
相模原市都市建設局土木部長	古川 交末
東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所長	佐藤 隆二
中日本高速道路株式会社 東京支社 保全・サービス事業部 道路管制センター 交通管制チームリーダー	沢本 直樹
首都高速道路株式会社 神奈川管理局 調査・環境グループ 課長	鈴木 和夫

◎ 委員長

(敬称略)

第7回 神奈川県安全性向上委員会 座席表

日時：平成22年12月9日（木） 10:00～12:00

場所：横浜国道事務所大会議室

入口

スクリーン

国土交通省 関東地方整備局
横浜国道事務所長
和泉 晶裕

国土交通省 関東地方整備局
川崎国道事務所長
秋山 均
(副所長 潤浪 慎一)

国土交通省 関東地方整備局
相武国道事務所長
吉田 秀範

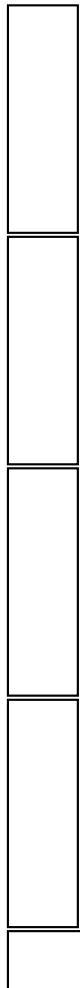
神奈川県安全防災局安全安心部
くらし安全交通課長
怒田 伸行
(主査 久保 透)

神奈川県県土整備局道路部
道路管理課長
三浦 雅彦
(交通安全施設グループリーダー
池田 六大)

横浜市道路局
道路部長
末廣 良和
(施設課長 中村 信治)

川崎市建設緑政局
道路河川整備部
担当部長
江澤 一夫

相模原市都市建設局
土木部長
古川 交末
(土木部 参事 藤井 弘造)



プロジェクト



横浜国立大学大学院
工学研究院 准教授
岡村 敏之

(社) 神奈川県安全運転管理者連合会
常務理事
羽太 洋一郎
(課長補佐 西 正智)

(財) 横浜市交通安全協会
常務理事
河野 昭雄

(社) 川崎市交通安全協会
専務理事
松浦 正寿

(社) 神奈川県トラック協会
専務理事
大川 充磨

神奈川県警察本部交通部
交通規制課長
柳川 浩介

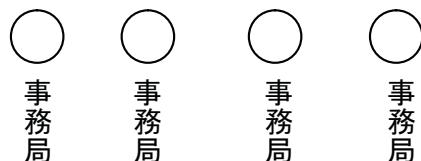
(課長補佐 鵜名山 道雄)

中日本高速道路株式会社 東京支社
保全・サービス事業部 道路管制センター
交通管制チームリーダー

沢本 直樹

首都高速道路株式会社
神奈川管理局
調査・環境グループ
課長

鈴木 和夫
(課長代理 割田 博)



入口

() は代理出席者



参考-1

神奈川県安全性向上委員会

設立趣意書

平成17年12月

道路は生活に欠くことのできない社会基盤であり、この道路上では、人やモノの移動に伴い、移動手段（自動車、自転車、歩行など）、移動手段を運転する人間（ドライバー、歩行者など）、および移動手段をとりまく交通環境（道路構造、交通規制・制御、地形条件、気象・自然条件など）が絡み合うことにより、交通事故が発生し、生活や経済活動に多大なストレスと損害を生じさせている現実がある。このため、道路の安全性の向上を図ることは、道路行政として喫緊の課題である。

このような背景のもと、神奈川県内の安全性向上を図るにあたり、「神奈川県安全性向上委員会」を設立し、交通事故特性の分析、要対策箇所の選定及び要対策箇所の事故対策の立案を行い、これらを公表し、道路利用者の理解・協力ならびに注意喚起を図るものである。

参考－2

神奈川県安全性向上委員会規約

(名称)

第1条 本会議は「神奈川県安全性向上委員会（以下、「委員会」という）」と称する。

(目的)

第2条 委員会は、神奈川県内の安全性向上について、公正・中立的な立場から、交通事故特性の分析、要対策箇所の選定及び要対策箇所の事故対策の立案を行い、これらを公表し、道路利用者の理解・協力ならびに注意喚起を図ることを目的とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、前条の目的を達成するために、以下の事項について実施するものとする。

- (1) 交通事故特性の分析
- (2) 要対策箇所の選定方針の立案及び、選定方針の修正並びに要対策箇所の選定
- (3) 要対策箇所の事故対策の立案、整備効果の検証
- (4) その他必要な事項

(構成)

第4条 委員会は、別紙に掲げる委員で構成する。

2 委員の追加・変更は、委員会の承認を要するものとする。

(第三者性)

第5条 委員は、委員会の目的に照らし、公正・中立な立場から特定の行政機関及び特定利害関係者等の利害を代表してはならない。

(委員の任期)

第6条 委員の任期は、委員会の所掌事項を完了するまでとする。

(委員長)

第7条 委員会には委員長をおくものとする。

- 2 委員長が職務を遂行できない場合は、予め委員長から指名する委員がその職務を代理する。
- 3 委員長は、必要に応じて委員以外の関係者の出席を求めることができる。

(委員会の運営)

第8条 委員会は、委員長の発議に基づいて開催する。

2 委員会は、委員会の運営にあたり必要な資料等を事務局に求めることができる。

(守秘義務)

第9条 委員は、個人情報など公開することが望ましくない情報を漏らしてはならない。

(委員会資料の公開)

第10条 委員会に提出された資料は、公開の対象とする。

(事務局)

第11条 事務局は、国道交通省関東地方整備局横浜国道事務所交通対策課に置くものとする。

(その他)

第12条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、その都度審議して定めるものとする。また、本規約の改正等は、本委員会の審議を経て行うことができるものとする。

付則 この規約は、平成18年11月20日から施行する。

神奈川県 安全性向上委員会

1. 委員会の目的とこれまでの経緯
2. 前回の委員会結果
3. 本日のテーマ
4. アンケート調査結果の報告
5. 交通安全課題箇所抽出

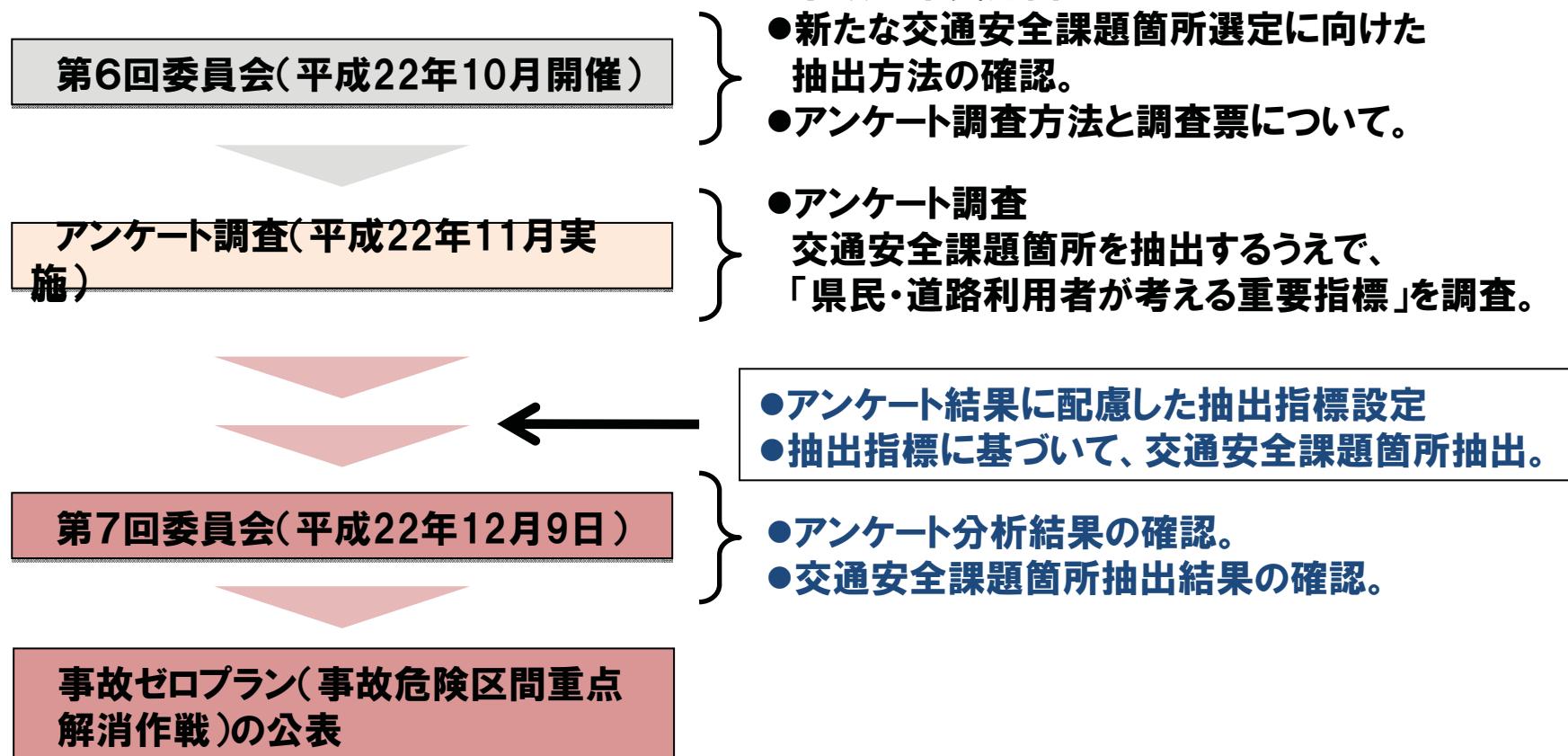
平成22年12月9日

1. 委員会の目的とこれまでの経緯

■「神奈川県安全性向上委員会」の目的

▶『神奈川県安全性向上委員会』は、交通事故対策について、様々な分野の方々からの意見をお伺いし、「要事故対策箇所の選定」「事故対策の立案」「対策結果の確認（フォローアップ）」について検討することを目的としています。

■ 今年度のスケジュール



2. 前回の委員会結果

■ 第6回委員会の内容・意見

【事故対策箇所のフォローアップについて】

- H17委員会で抽出された対策箇所について、事故率の減少傾向を確認した。
- 事故件数が減少していない特定の事故類型もあるが、対策完了からの期間が短いため、今後も引き続きモニタリングを行う。

【新たな交通安全課題箇所の抽出方法について】

- 課題箇所抽出のための、神奈川県の事故特性について確認した。
- 道路利用者が重要視する指標のアンケート調査について、結果を抽出に反映する方法を整理する。

【アンケート調査方法と調査票について】

- 利用者のニーズを確認できるように、広くわかりやすい表現でアンケートを行う。
- トラック協会、タクシー協会、バス協会には、一般の方向けのアンケートとは別に、運転手(プロのドライバー)の視点によるアンケートを行う。
- アンケート調査結果について、回答者の属性と回答内容の分析を行う。

3. 本日のテーマ

■ アンケート調査結果確認

- ▶ アンケート調査結果から得られた、道路利用者の考える重要指標について確認するとともに、回答属性ごとの分析結果を確認する。

■ 交通安全課題箇所抽出“方法”的確認

- ▶ アンケート結果をもとに重要指標を設定し、「死傷事故率と重要指標事故率」を用いた交通安全課題箇所の抽出方針について確認する。

■ 交通安全課題箇所抽出“結果”的確認

交通安全課題箇所(約50箇所)の抽出結果(案)について確認する。

- ▶ 課題箇所の抽出から外れた、以下のような箇所を課題抽出に含めるかどうか、ご意見を伺いたい。

死傷事故率・重要指標事故率は顕著ではないが、「アンケート結果から、具体的なヒヤリハット交差点として重複票を集め」、また事故率や事故類型からみても、対策効果が期待できる箇所

※ヒヤリハット意見：事故データでは見えない事故の潜在要因がある箇所

4. アンケート調査結果の報告（1）

■ アンケート調査方法、回収結果

【一般の方へのアンケート】

調査方法	インターネット モニターankete	国道事務所 HPアンケート	合 計
実施期間	平成 22 年 11月15日～11月22日	平成 22 年 11月15日～11月30日	平成 22 年 11月15日～11月30日
対象	神奈川県民インターネットモニター	神奈川県民、道路利用者	—
	15歳以上	横浜・相武・川崎国道事務所 HP閲覧者	—
内容	<p>問1、事故の種類の重要度 ①車同士の事故、②二輪車が関連する事故、③自転車が関連する事故、④歩行者が関連する事故、 ⑤子供が被害に遭う事故、⑥高齢者が被害に遭う事故、⑦亡くなられる方が多い重大な事故、⑧その他</p> <p>問2、特に減らしてほしい事故の種類（上記1より、特に減らしてほしい種類一つを選定）</p> <p>問3、事故の場所の重要度 ①自動車交通量が多い道路、②歩行者交通量が多い道路、③自転車交通量が多い道路、 ④通学路として利用されている道路、⑤駅付近の道路、⑥住宅地付近の道路、⑦その他</p> <p>問4、特に減らしてほしい事故の場所（上記3より、特に減らしてほしい場所一つを選定）</p> <p>問5、ヒヤリハットした場所</p>		
回収	1, 100票	90票	1, 190票

4. アンケート調査結果の報告（2）

■ アンケート調査方法、回収結果

【トラック協会・タクシー協会・バス協会(3協会)へのアンケート】

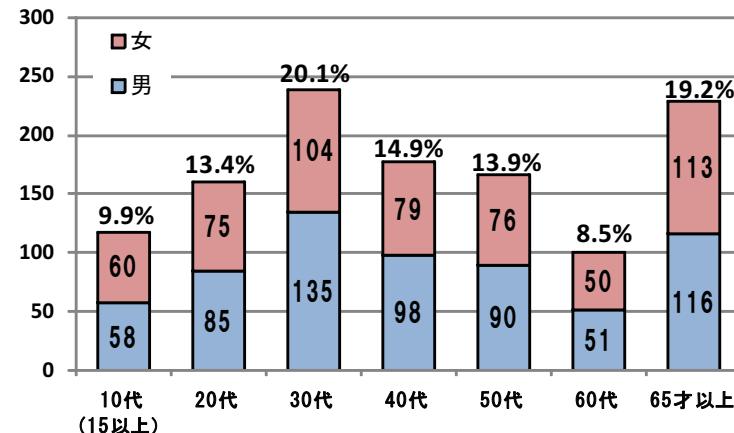
調査方法	神奈川県 トラック協会 アンケート	神奈川県 タクシー協会 アンケート	神奈川県 バス協会 アンケート	合 計
実施期間		平成 22 年 11月17日～11月30日		平成 22 年 11月17日～11月30日
対象		主に業務として道路を利用している方		—
内容		問1、死傷事故率上位 100箇所についてどのように思いますか 問2、1以外に追加すべき場所がありますか 問3、ヒヤリハットした場所		
回収	22票	148票	18票	188票

4. アンケート調査結果の報告（3）

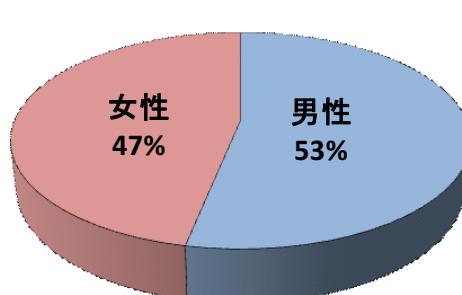
■ 一般アンケート 回答者属性（1）

▶回答者属性(年代・性別・居住地域)は、神奈川県人口内訳比率とほぼ同様の回答。
※ インターネットモニターアンケートにて性別、年代、居住地域をコントロールできた。

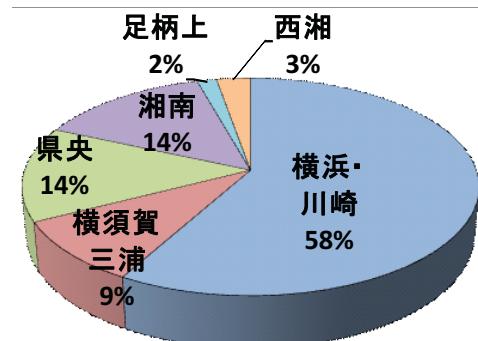
【年代別アンケート回答者】



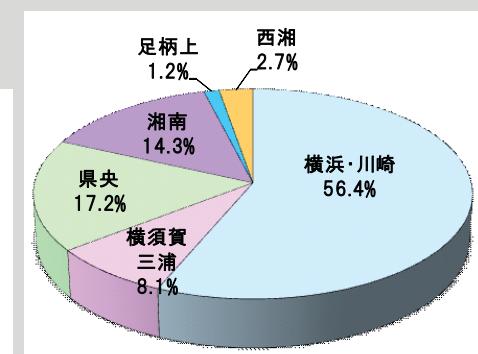
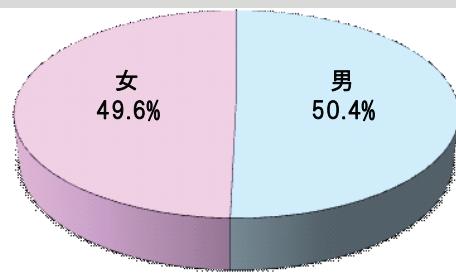
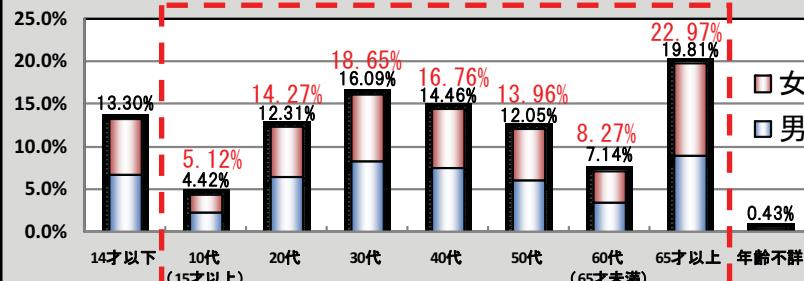
【回答者性別】



【回答者居住地域】



【参考:神奈川県の人口内訳】

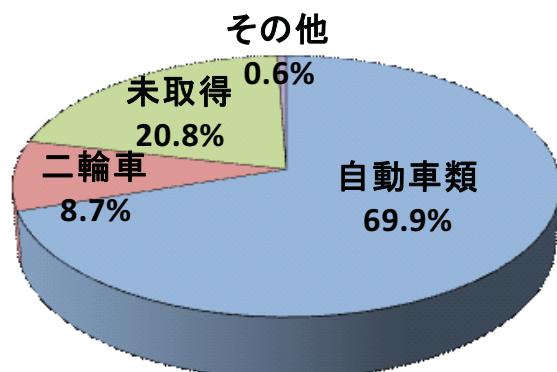


4. アンケート調査結果の報告（4）

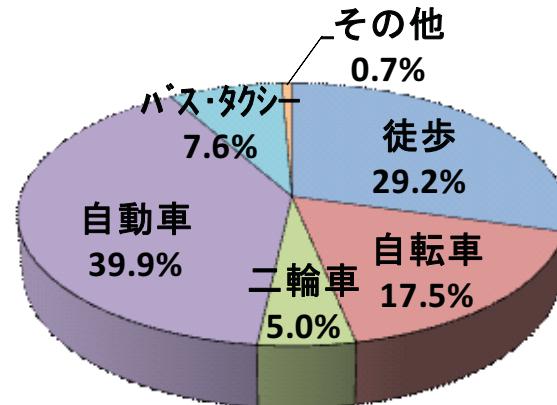
一般アンケート 回答者属性（2）

- ▶回答の8割程度は免許保有者。
- ▶利用手段は、車両類（自動車・二輪車・バスタクシー）と歩行者類（歩行・自転車）が1:1程度。
- ▶利用目的は、通勤と買い物比率が高く、業務利用の回答は少ない。

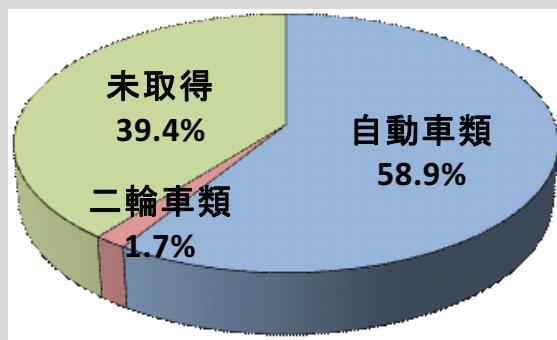
【運転免許取得状況】



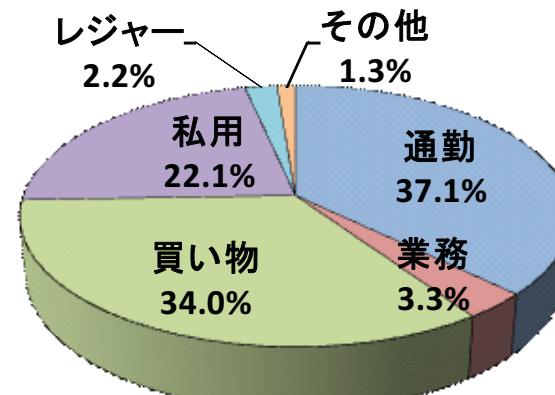
【道路を利用する主な手段】



【参考：神奈川県内運転免許取得状況】



【道路路利用する主な目的】

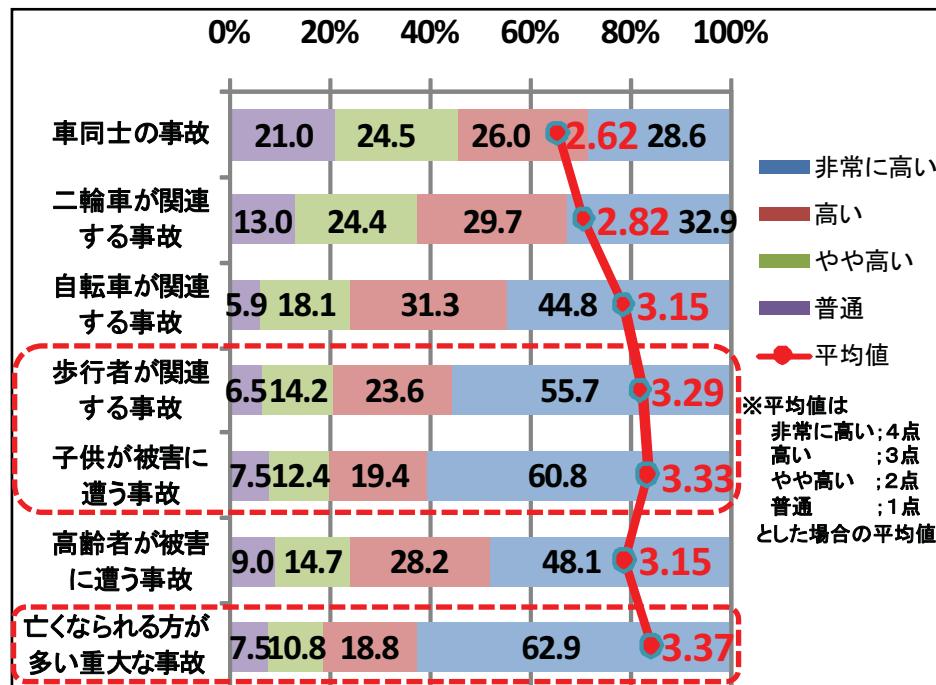


4. アンケート調査結果の報告（5）

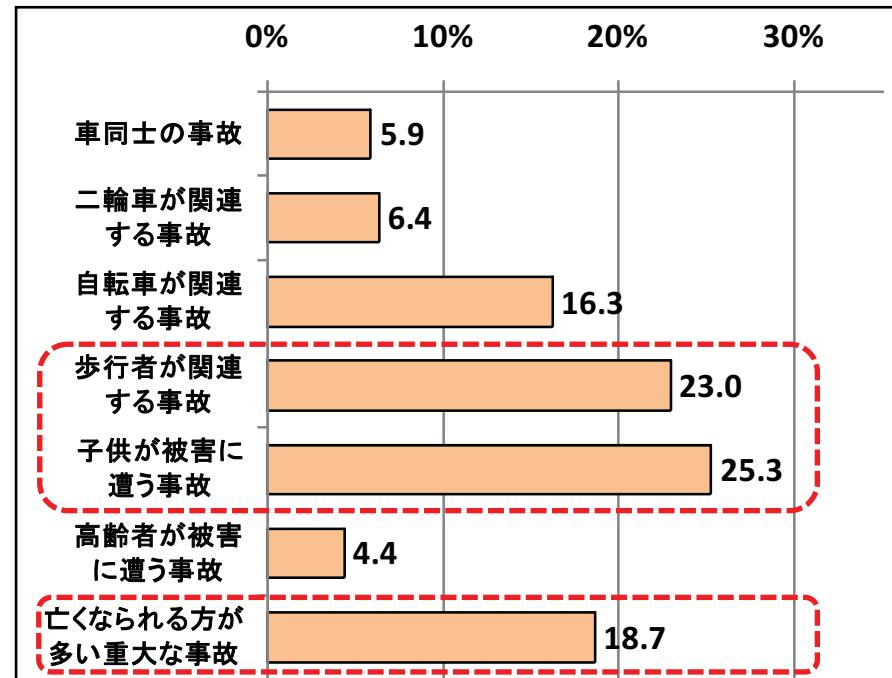
■ 一般アンケート 回答結果 “重要な事故”

- 問1;どのような種類の事故を減らしてほしいと思いますか。
- 問2;問1について、特に減らしてほしい“事故の種類”を1つ選んで下さい。

▶ 減らしたい種類として、『子供が被害に遭う被害』『歩行者が関連する事故』『亡くなられる方が多い重大な事故』の重要度が高い。



図－1 減らしたい事故の重要度



図－2 特に減らしたい事故の種類

4. アンケート調査結果の報告（6）

■ 一般アンケート 回答結果 “重要な事故”の属性分析

- ▶ **性別分析**では、男性が『車同士』『二輪車事故』など運転者側の視点回答が多く、女性は『高齢者が被害』『亡くなられる方が多い事故』など、被害にあわれる方視点の重要度が高い。
- ▶ **世代別分析**では、10代(車以外の移動手段が主)では『歩行者に関する事故』の重要度が高く、20～65以上の親の世代では、『子供が被害に遭う事故』の重要度が最も高い。
- ▶ **利用手段別分析**では、子供事故の重要性は共通だが、回答者と関係性の高い事故を重要視する傾向。

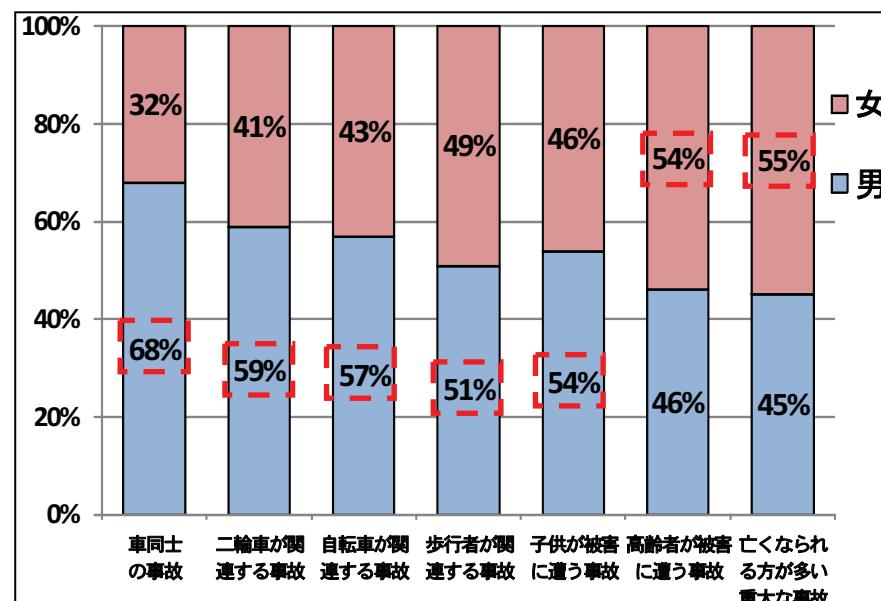


図-3 各事故の男女比率

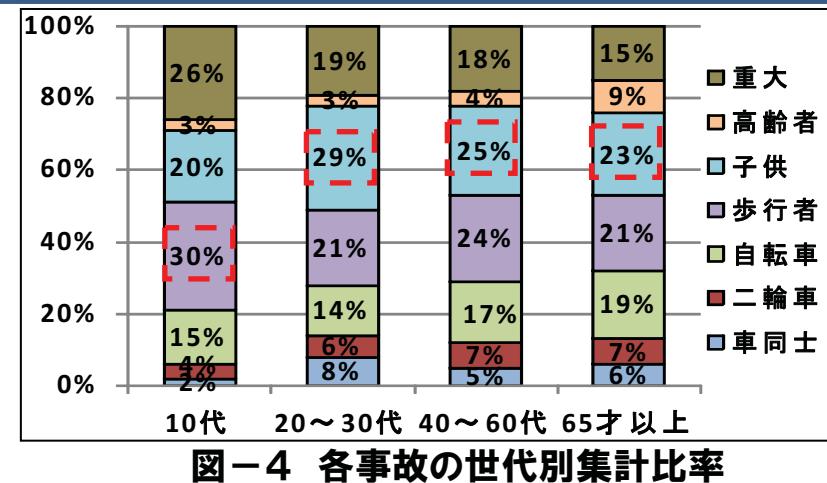


図-4 各事故の世代別集計比率

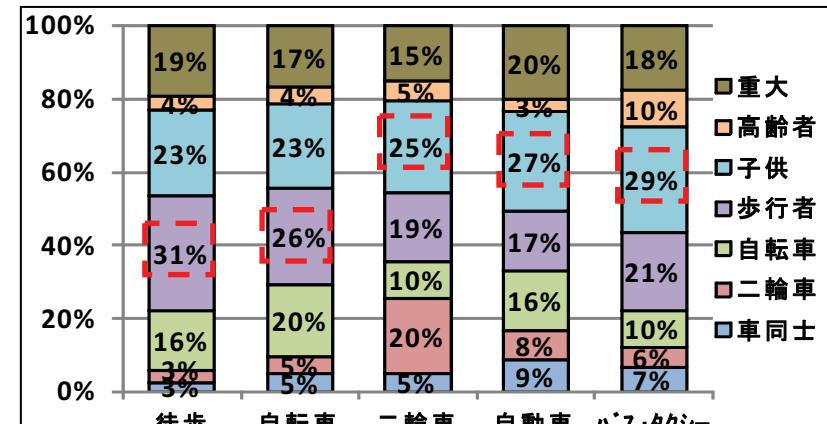


図-5 各事故の主な利用手段別集計比率

4. アンケート調査結果の報告（7）

■一般アンケート 回答結果 “重要な場所”

- 問3:どのような場所で起きる事故を減らしてほしいと思いますか。
- 問4:問3について、特に減らしてほしい“場所で起きる事故”を1つ選んで下さい。

▶ 減らしたい場所として、『通学路として利用されている道路』『歩行者交通量が多い道路』の重要度が高い。

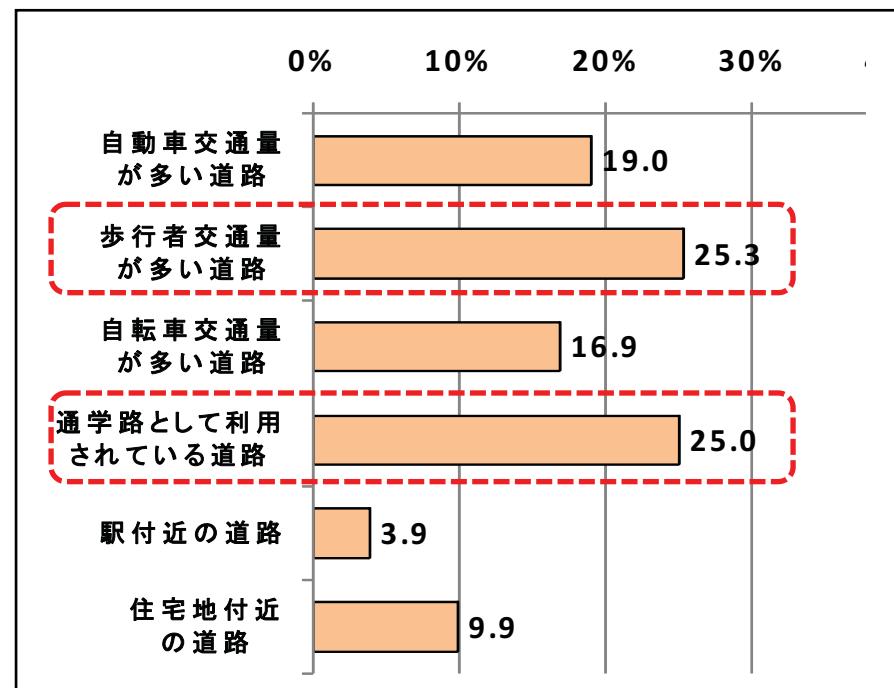
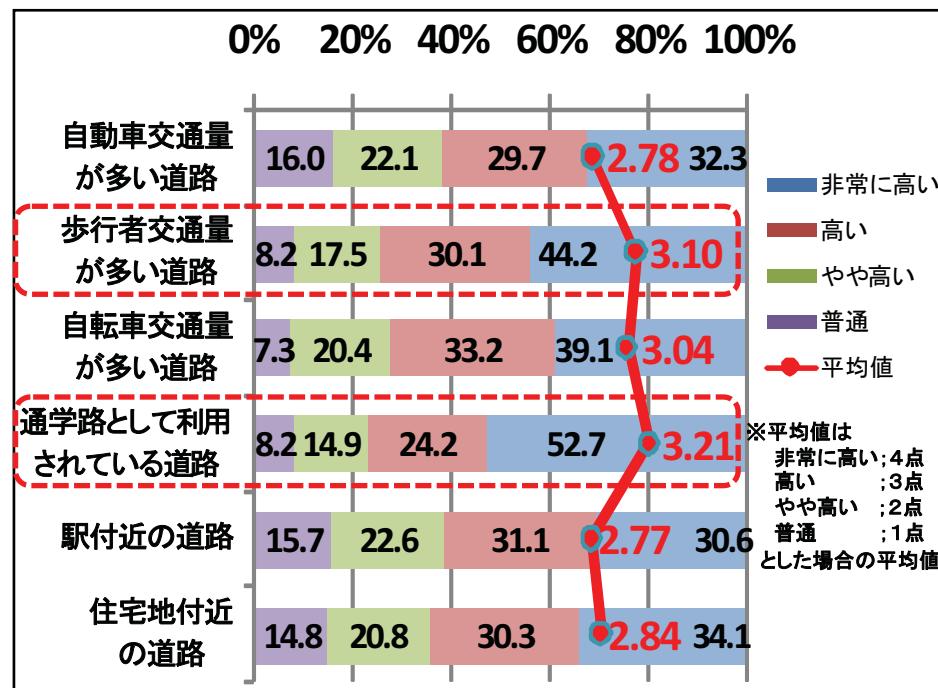


図-1 減らしたい場所の重要度

図-2 特に減らしたい事故の場所

4. アンケート調査結果の報告（8）

■ 一般アンケート 回答結果 “重要な場所”の属性分析

- ▶ 性別分析では、男性が『駅付近の道路』『住宅地付近の道路』、女性では『歩行者交通量が多い道路』の重要度が高い。
- ▶ 世代別分析では、10代では『通学路』、65才以上では『歩行者交通の多い道路』の重要度が高い。
- ▶ 主な利用手段別分析では、徒歩・自転車・バスタクシーの方が『歩行者交通が多い道路』を重要とした。

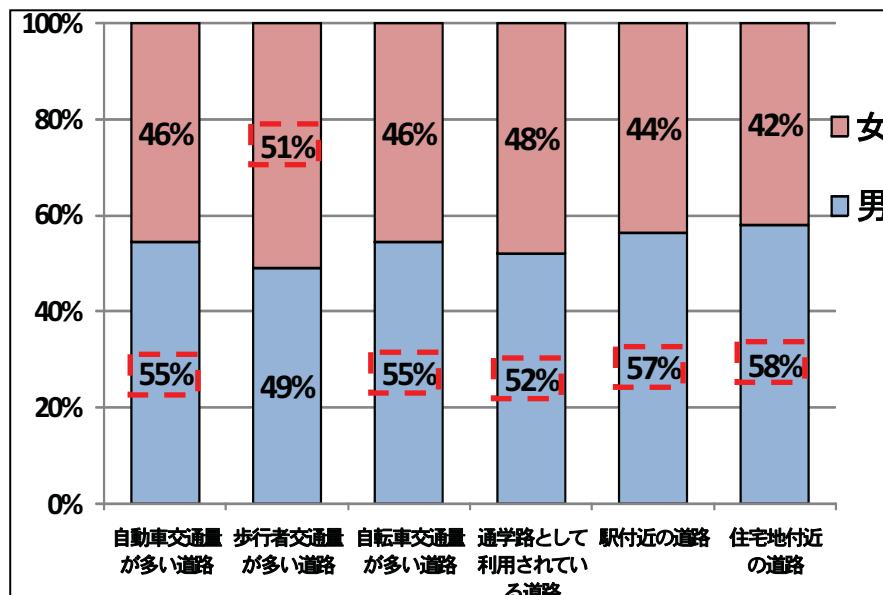


図-3 各場所の男女比率

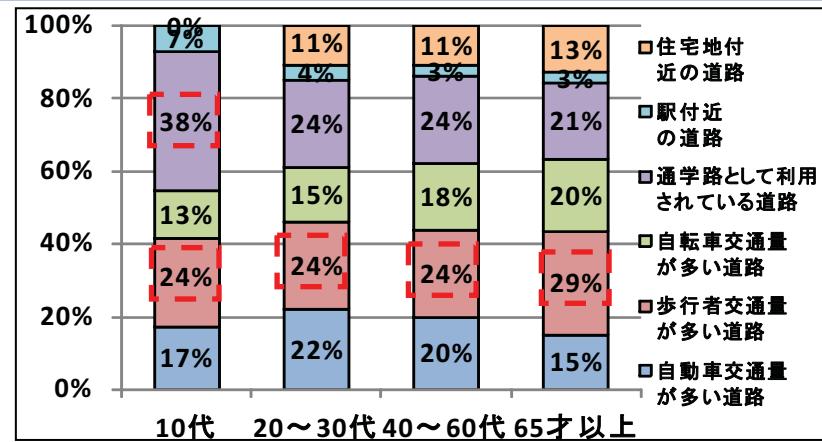


図-4 各場所の世代別比率

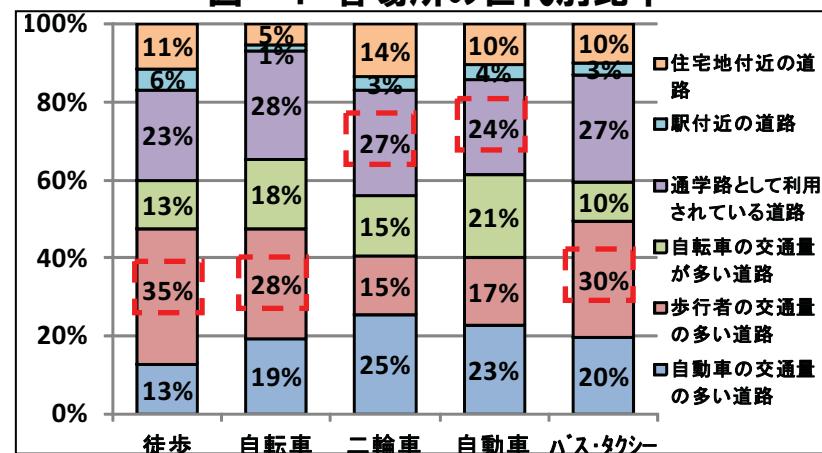


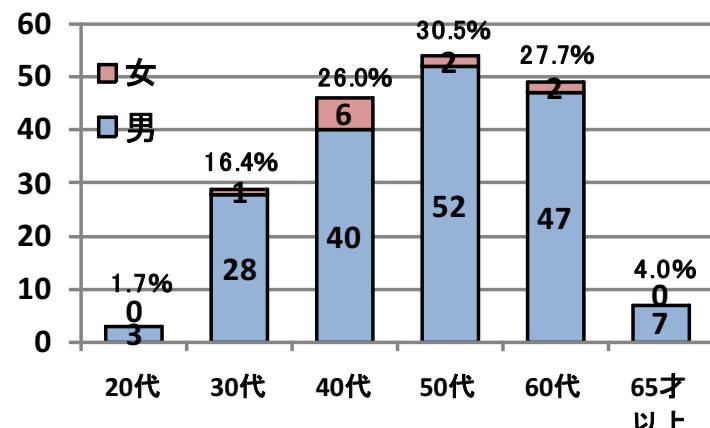
図-5 各場所の手段別比率

4. アンケート調査結果の報告（9）

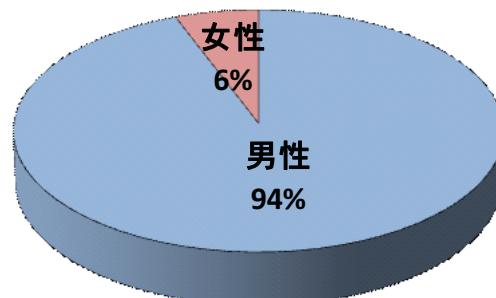
■ 3協会アンケート 回答者属性

- ▶ 年代では、40～60代で全体の8割上であった。
- ▶ 性別では、男性が全体の9割以上であった。

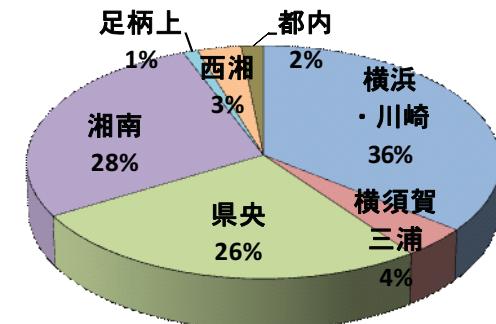
【年代別回答者年齢】



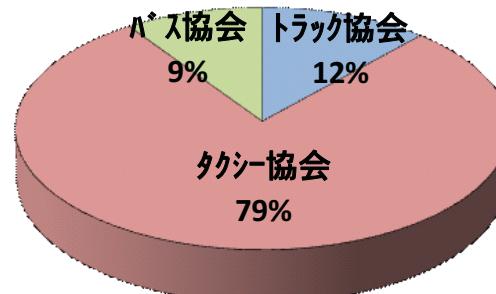
【回答者性別】



【回答者居住地域】



【回答者所属】



4. アンケート調査結果の報告（10）

■ 3協会アンケート 回答結果 死傷事故率上位箇所の実感

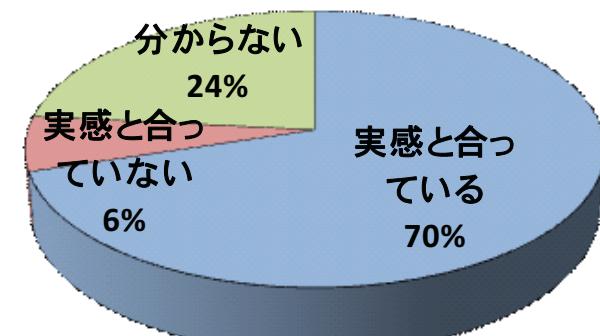
●問1：「死傷事故率上位100箇所」について、どのように思いますか。

- ▶ 事故対策箇所抽出の基本となる死傷事故率の高い箇所について、具体的な箇所を示して、ドライバーの実感（事故率が高い箇所＝危険と感じている箇所）を確認した。
- ▶ 死傷事故率上位100箇所について、7割以上の方が『実感と合っている』と回答し、『実感とあっていない』は1割未満であった。

協会への配布資料



【死傷事故率上位100箇所のイメージ】



4. アンケート調査結果の報告（11）

■一般/3協会アンケート 回答分析 “具体的な危険箇所”の概要

●一般向けアンケート

問5;ヒヤリハットした体験がございましたら、具体的な場所やヒヤリハット内容についてご意見をお寄せ下さい。

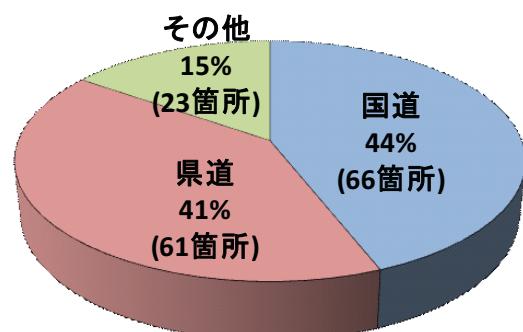
●バス・タクシー・トラック協会アンケート

問2;「死傷事故率上位100箇所」以外で追加すべき場所がありましたら、路線名・交差点名を記入して下さい。

問3;ヒヤリハットした体験がございましたら、具体的な場所やヒヤリハット内容についてご意見をお寄せ下さい。

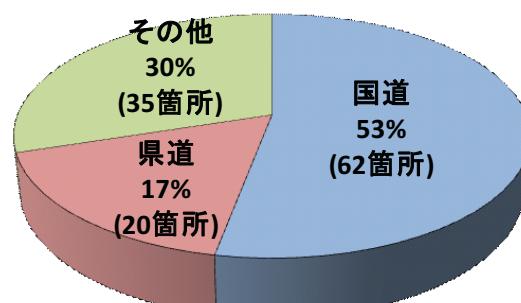
- ▶ 一般向け『ヒヤリハットした場所』の回答数は150票で、内訳は国道66箇所、県道61箇所、その他23箇所となっている。
- ▶ バス・タクシー・トラック協会への『追加すべき場所』の回答数は117票で、内訳は国道62箇所、県道20箇所、その他35箇所となっている。
- ▶ バス・タクシー・トラック協会への『ヒヤリハットした場所』の回答数は139票で、内訳は国道65箇所、県道35箇所、その他39箇所となっている。

【一般向け:ヒヤリハットした場所】



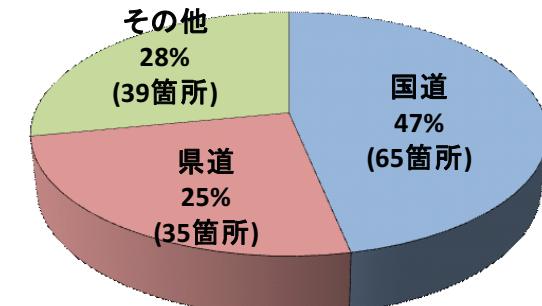
総数150票

【バス・タクシー・トラック協会
:追加すべき場所】



総数117票

【バス・タクシー・トラック協会
:ヒヤリハットした場所】



総数139票

4. アンケート調査結果の報告（12）

■ 一般/3協会アンケート 回答結果 “具体的な危険箇所”の集計

▶ 回答が多かった危険箇所は23箇所で、その内14箇所は対策済み又は抽出箇所、6箇所は事故件数が少ない箇所、3箇所が事故件数が多く特徴的事故もある箇所となっている。

番号	道路管理者	道路種別	路線名	箇所名 (交差点名)	死傷 事故率	死傷 事故件 数	アンケート重要指標の事故率					特徴的な事故指標の事故率					
							重大	子供	歩行者	通学路	あんしん 歩行	追突	二輪車	自転車	左折	右折	高齢者
				神奈川県全件(4423箇所)の平均	275.4	10.6	42.4	2.4	27.5	—	—	78.5	20.7	45.5	33.0	51.6	7.2
				代表50箇所の平均	833.3	23.3	146.4	17.9	105.8	—	—	196.7	79.1	167.8	144.1	186.8	45.9
1	神奈川県	国道	467	南藤沢	1606.9	41	314	0	235	●	314	235	470	353	392	0	
2	神奈川県	国道	467	郵便局前	1371.7	35	118	0	118	●	●	392	78	588	510	274	0
3	横浜市	主地(県)	22	立場	1339.9	51	210	131	158			263	105	420	79	342	210
4	神奈川県	主地(県)	26	衣笠十字路	1033.3	31	133	0	33	●		200	67	100	100	400	0
5	横浜国道	国道	16	東川島町西	917.2	34	27	27	27			297	135	27	108	216	135
6	横浜国道	国道	246	水引	798.6	17	0	0	0			329	0	188	376	94	0
7	横浜市	主地(県)	23	笠間	723.6	21	103	0	69	●	●	138	34	69	69	310	103
8	横浜国道	国道	1	一里塚	630.9	26	97	24	49	●		49	97	194	218	146	73
9	相武国道	国道	16	鶴野森	606.3	52	23	12	0			245	0	128	70	128	47
10	相武国道	国道	16	相模大野駅 南口入口	593.8	55	11	0	0			270	43	43	32	32	22
11	横浜国道	国道	246	厚木市立病院前	346.3	38	9	0	0			228	9	46	27	64	36
12	横浜国道	国道	1	十間坂	303.9	11	28	0	28	●	●	28	0	55	28	138	55
13	横浜国道	国道	246	文化会館前	204.3	22	9	0	9			111	0	0	28	37	0
14	相武国道	国道	16	橋本五差路	118.3	8	0	0	0	●		89	0	15	15	0	30
15	神奈川県	主地(県)	32	手広	583.9	19	92	0	92	●	●	123	92	246	123	123	0
16	横浜国道	国道	16	屏風ヶ浦	316.3	22	72	0	72		●	101	58	29	43	58	29
17	横浜国道	国道	246	切通し	131.6	25	11	5	0	●	●	105	5	5	11	0	0
18	神奈川県	県道	302	山崎跨線橋北	491.9	7	141	0	141	●		141	0	0	0	211	0
19	相模原市	主地(県)	57	上溝中坂下	370.1	8	93	0	0			93	46	93	46	0	0
20	横浜市	県道	401	阿久和	351.3	6	59	0	59			117	59	59	0	59	59
21	横浜市	主地(県)	22	矢沢	231.8	9	26	0	0			103	77	26	0	52	0
22	横浜国道	国道	246	沼代	173.0	7	25	0	25	●		99	25	0	0	25	0
23	横浜国道	国道	357	幸浦2丁目	82.5	6	14	0	14			14	0	41	14	41	14

14箇所
対策済み又は
抽出予定箇所

3箇所
事故件数多く、
特徴的事故
がある

6箇所：
事故件数が
少ない箇所

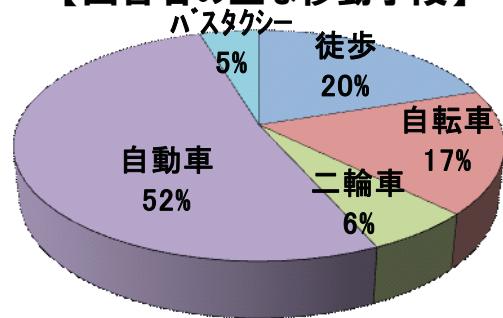
4. アンケート調査結果の報告（13）

■一般アンケート 回答結果 “具体的な危険箇所”の回答属性

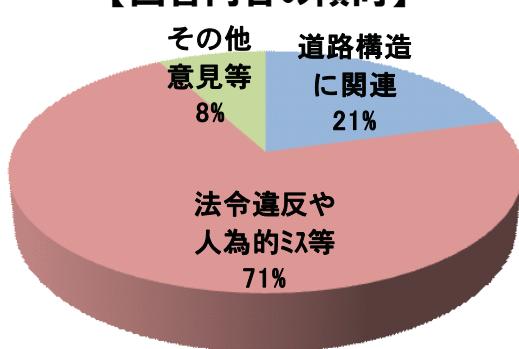
○ヒヤリハット体験の回答属性

- ▶回答者の主な移動手段として、車両（自動車・二輪車）利用者が6割と多く、ドライバー視点でのヒヤリハット体験が多いことが解る。
- ▶回答内容は、約2割が道路構造に関連する内容、約7割が法令違反や人為的ミス等による内容であった。

【回答者の主な移動手段】



【回答内容の傾向】



【ヒヤリハット内容について】

	視点	代表意見
道路構造に関連 2割程度	自動車・二輪車・バスタクシーカラの視点	<ul style="list-style-type: none">○右左折時の対向車や歩行者の視認性○橋脚による視認性の阻害○車線数の減少による急な車線変更○カーブによる視認性や操作性○道幅が狭く、すれ違いが困難○複雑な交差点形状○右折専用信号が無く危険
	歩行者・自転車からの視点	<ul style="list-style-type: none">○歩道幅が狭く歩道上の自転車との接触○信号現示が短く横断できない
法令違反や人為的ミス等 7割程度	自動車・二輪車・バスタクシーカラの視点	<ul style="list-style-type: none">○信号無視や飛び出し等○無理な割り込み、急な車線変更○バイクのすり抜け○スピード超過
	歩行者・自転車からの視点	<ul style="list-style-type: none">○歩行中の車とのすれ違い時○交差点右左折者による巻き込み事故

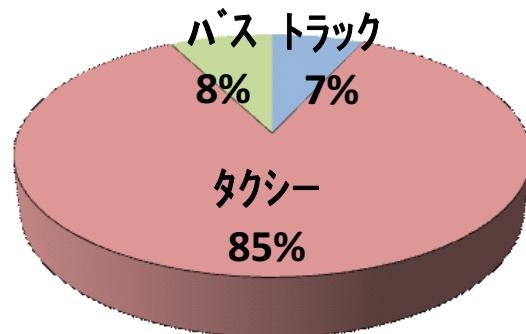
4. アンケート調査結果の報告（14）

■3協会アンケート 回答結果 “具体的な危険箇所”の回答属性

○追加すべき対策箇所の回答属性

▶死傷事故率上位100箇所以外に追加すべき箇所は117箇所。
その内回答が多かった箇所は9箇所で、比較的事故率や事故件数の多い箇所、特徴的事故の多い箇所が選定されている。

【追加すべき箇所回答者所属】



【回答が多かった箇所の状況】

番号	道路管理者	道路種別	路線名	箇所名(交差点名)	死傷事故率	死傷事故件数	備考
1	神奈川県	国道	467	南藤沢	1606.9	41	代表50箇所抽出
2	横浜国道	国道	16	東川島町西	917.2	34	代表50箇所抽出
3	横浜国道	国道	246	水引	798.6	17	代表50箇所抽出
4	横浜国道	国道	1	一里塚	630.9	26	対策済み
5	相武国道	国道	16	橋本五差路	118.3	8	対策済み
6	横浜国道	国道	246	厚木市立病院前	346.3	38	追突事故25件
7	横浜国道	国道	246	切通し	131.6	25	追突事故20件
8	横浜市	主地(県)	22	矢沢	231.8	9	事故件数が少ない
9	横浜国道	国道	246	沼代	173.0	7	事故件数が少ない

- 対策済み又は抽出予定箇所
- 事故件数多く、特徴的事故もある箇所
- 事故件数が少ない箇所

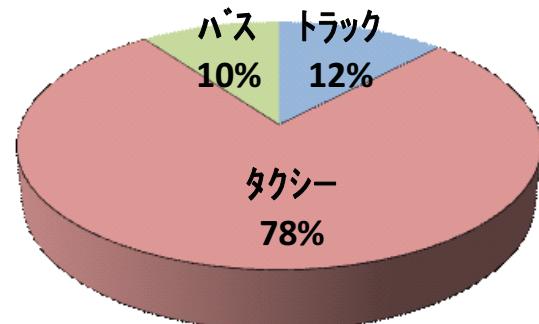
4. アンケート調査結果の報告（15）

■ 3協会アンケート 回答結果 “具体的な危険箇所”の回答属性

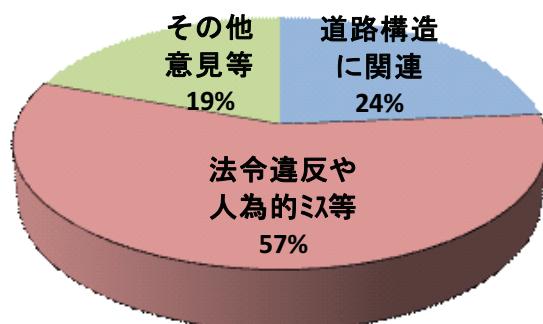
○ヒヤリハット体験の回答属性

- ▶ 回答内容は、約2割が道路構造に関する内容、約6割が法令違反や人為的ミス等による内容であった。

【回答者所属】



【回答内容の傾向】



【ヒヤリハット内容について】

	代表意見
道路構造に関する意見等 2割程度	<ul style="list-style-type: none">○右左折時の対向車や歩行者の視認性○車線数の減少による急な車線変更○カーブによる視認性や操作性○横断需要がある箇所に横断歩道が無い○変則信号で分かりづらい○交通量が多いのに信号が無く危険○信号現示が短い
法令違反や人為的ミス等 6割程度	<ul style="list-style-type: none">○信号無視や飛び出し等○無理な割り込み、急な車線変更○バイクのすり抜け

5. 交通安全課題箇所の抽出（1）

交通安全課題箇所の抽出“方針”

①死傷事故率の高い箇所

- ・対策箇所選定の基本となる「事故率の突出した箇所」に配慮。

②アンケート結果の反映

- ・『子供が被害に遭う事故』『歩行者が関連する事故』『亡くなられる方が多い重大な事故』の各指標事故率が顕著な箇所。

- ・『通学路として利用されている道路＝通学路指定道路』

- ・『歩行者の交通量が多い道路＝あんしん歩行エリア』における事故率が顕著な箇所。

- ・『ヒヤリハット箇所』『追加対策必要箇所』の得票が多かった箇所。（委員会での判断）

③特徴的な事故率の高い箇所

- ・事故特性が顕著な箇所は、効率的な事故対策が可能であることから、神奈川県の特徴的な事故特性『追突・二輪車・自転車・右左折・高齢者』の顕著な箇所に配慮。

④地元要望箇所

- ・地元からの要望・公安委員会からの指摘を踏まえて、既に対策の準備を行っている箇所。

5. 交通安全課題箇所の抽出（2）

交通安全課題箇所の抽出“方法”

基本データ集計

4423箇所

636箇所

- 死傷事故率: 100件/億台km以上(H17~20年)
- 死亡事故件数: 1件 (H17~20年)
- 地域の声、公安委員会からの指摘箇所

【対象からの除外判断】※地域の声、公安委員会からの指定箇所を除く

対策済み箇所の除外：過年度既に交通事故対策済み

対策効果の検証が難しい事故の少ない箇所：事故件数4件/年未満の箇所※1

①事故率および、アンケートで選ばれた指標に配慮した事故危険箇所の抽出

636箇所

24箇所抽出※2

- ワースト10 「死傷事故率」の高い箇所
- ワースト5 アンケート重要指標の、「歩行者事故率」「子供事故率」「重大事故率」の高い箇所、「歩行者が多い道路」「通学路」で事故率の高い箇所。

②事故率および、神奈川の事故特性・アンケートのヒヤリハットに配慮した事故危険箇所の抽出

636箇所

+12箇所抽出※2

- ワースト10 神奈川県の特徴的事故特性「追突・二輪車・自転車・右左折・高齢者」の高い箇所から、事故率・ヒヤリハット箇所に配慮して抽出

③地域の声・公安委員会からの指摘

636箇所

+14箇所抽出

- 地元からの要望・公安委員会からの指摘を踏まえて、既に対策の準備を行っている箇所

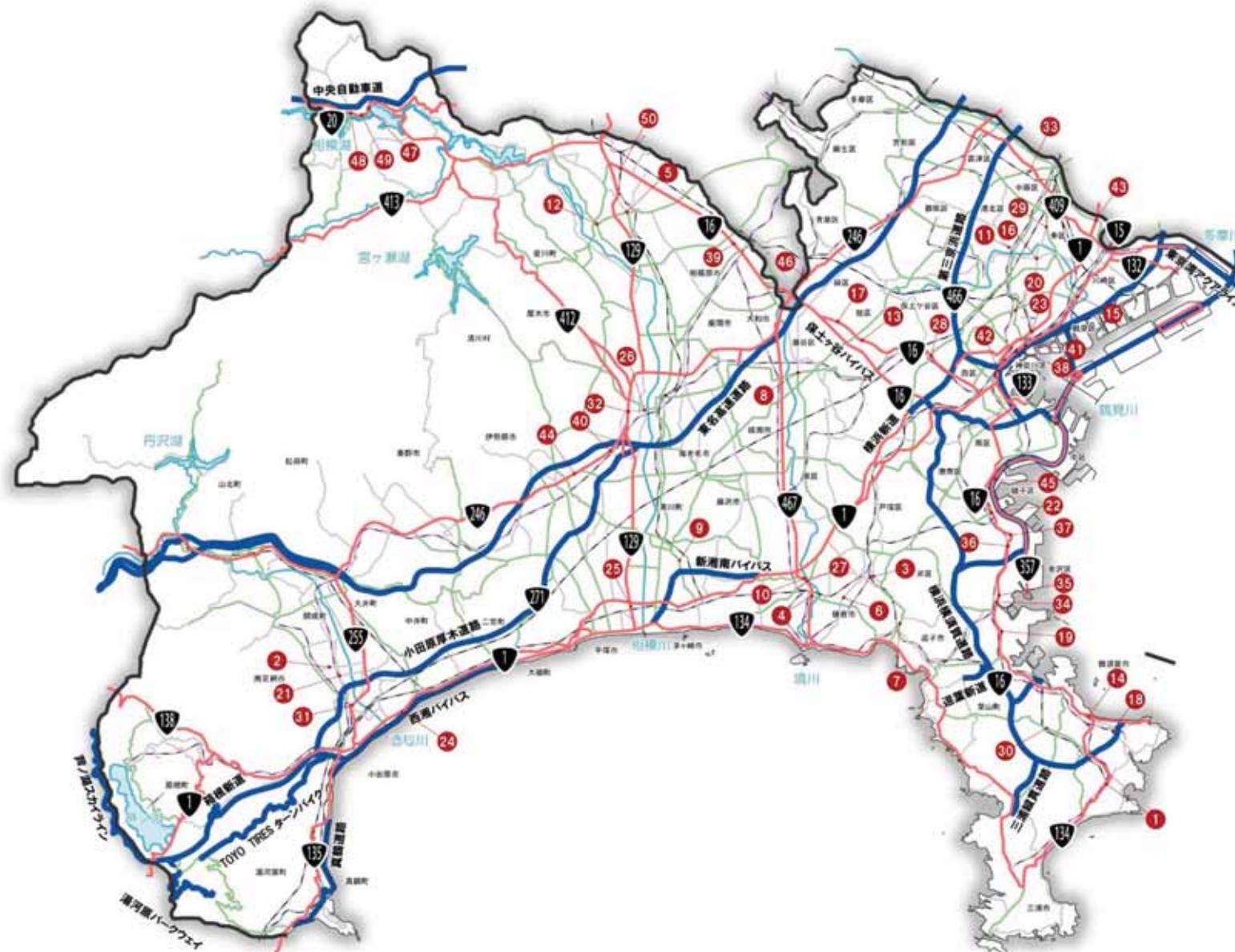
事故対策箇所 合計“50箇所”抽出

※1 ITARDAの留意区間は2件/年未満となっており、その倍とした。

※2 指標のワースト5・10および事故率の高い箇所の重複がある。

5. 交通安全課題箇所の抽出（3）

■ 交通安全課題箇所の抽出結果(位置図)



5. 交通安全課題箇所の抽出（4）

■ 交通安全課題箇所の抽出結果(一覧表)

番号	道路管理者	道路種別	路線名	箇所名(交差点名)	死傷事故率	死傷事故件数	死傷事故率	アンケート対象指標					特徴的な事故指標					追加すべき ヒヤリハット	地元要望	備考
								A	B	C	D	E	a	b	c	d	e			
1	神奈川県	国道	134 久里浜		2076.4	35	●	○	○	○	●	●	○	●	●	○	●			
2	神奈川県	県道	717 小田原市柳新田40-1～櫻之内		1836.7	37	●	○	○	○	●	●	○	●	●	○	○			
3	神奈川県	県道	301 大船駅東口交通広場前		1652.9	16	●	●												
4	神奈川県	国道	467 南藤沢		1606.9	41	●	○	○	○	●	●	○	●	●	○	○			
5	相模原市	主地(県)	54 上溝		1561.2	29	●													
6	神奈川県	県道	304 古壁橋		1536.9	20	●		○											
7	神奈川県	主地(県)	21 謙倉市小町		1497.4	24	●		●	●	●	○								
8	横浜市	県道	40 濱谷西丁目		1453.2	38	●	○	●	○	●	●	○	●	●	○	●			
9	神奈川県	主地(県)	44 電電所前		1408.2	28	●													
10	神奈川県	国道	467 郵便局前		1371.7	35	●													
11	横浜市	県道	111 明岡交番前		1092.2	23	○		●	○	●	●	○	●	●	○	●			
12	相模原市	主地(県)	48 上田名		1040.6	26	○	○	●	○										
13	横浜国道	国道	16 薩埵		1001.5	25	○	●												
14	横浜国道	国道	16 三春町4丁目		996.9	17	○	●	○											
15	横浜国道	国道	15 鶴見署前		994.8	49	○		●	●	●	●	○	○	○					
16	横浜市	県道	106 緑島駅西口		946.9	17	○	○	●	●	○	○								
17	横浜国道	国道	16 川井本町		921.4	23	○		●	●					○	○				
18	神奈川県	県道	208 桜ヶ丘入口		884.1	25	●		●	●	○									
19	横浜国道	国道	16 道浜駅前		862.3	39	●	●	○	○	○		○	○	○	○	●			
20	横浜市	県道	2 港北小学校入口		828.7	22	○	○	●	●	○									
21	神奈川県	県道	720 売田駅前		685.6	16	○	●	●	●										
22	横浜国道	国道	16 聖天橋		651.1	24	○	●	○											
23	横浜国道	国道	1 入江町		582.6	31			●											
24	横浜国道	国道	1 酒匂県営住宅入口		519.8	18	○	●	●	○					○					
25	神奈川県	国道	129 幸峰市島入本町		1228.8	21	○				○									
26	神奈川県	主地(県)	40 東町郵便局前		1081.8	31	○	○	○	○	○				●	○				
27	神奈川県	国道	467 藤沢橋		1019.0	26	○				○	○		●	○					
28	横浜国道	国道	16 萬葉島町西		917.2	34	○				○	●				○	●	●	●	
29	川崎市	主地(県)	14 北加瀬3丁目(幸区)		910.3	31	○													
30	神奈川県	主地(県)	27 三浦高校前		884.3	22	○	○	○	○										
31	神奈川県	国道	255 鮎庭入口		845.2	24	○													
32	横浜国道	国道	246 水引		798.6	17				○										
33	川崎市	主地(県)	45 上小田中6丁目(中原区)		774.6	17														
34	横浜国道	国道	16 萬葉署前		678.2	25														
35	横浜国道	国道	16 鳴鹿2丁目		678.2	25				○	●									
36	横浜国道	国道	16 青砥坂		569.7	21														
37	横浜国道	国道	16 杉田		651.1	24			○											
38	横浜国道	国道	15 神奈川2丁目		430.4	32														
39	横浜国道	国道	16 和共三丁目(交)		315.2	22														
40	横浜国道	国道	246 藤平宮前		424.3	13														
41	横浜国道	国道	15 出田町入口		282.5	21														
42	横浜国道	国道	1 金港町		265.5	24														
43	横浜国道	国道	1 多摩川大橋付近		246.0	19														
44	横浜国道	国道	246 伊勢原市下轟屋付近		239.3	11														
45	横浜国道	国道	357 磨子駅付近		133.7	10														
46	横浜国道	国道	246 つじの交差点付近		104.5	18														
47	横浜国道	国道	20 吉野(草)相模原市		51.1	4														
48	横浜国道	国道	20 相模原市藤野町小河		51.1	4														
49	横浜国道	国道	20 相模原市藤野町小河		46.3	4														
50	横浜国道	国道	16 大河原陸橋(草)		26.8	5														

- A : 死くなれる方が多い重大な事故
 - B : 子供が被害に遭う事故
 - C : 行歩者が関連する事故
 - D : 通学路として利用されている道路
 - E : 行歩者交通量の多い道路(あんしん歩行エリア)
 - a : 車同士の事故(追突事故)
 - b : 二輪車が関連する事故
 - c : 自転車が関連する事故
 - d : 車同士の事故(左折事故)
 - e : 車同士の事故(右折事故)
 - f : 高齢者が被害に遭う事故
- :死傷事故率、アンケートで選ばれた指標に記述
- :神奈川県の事故特性、ヒヤリハット意見に記述
- :地域の声、公安委員会からの指摘に記述
- :死傷事故率、特徴的な事故指標 ワースト10
- :アンケート重要指標 ワースト5
- :その他「地元要望」「追加すべき」「ヒヤリハット」該当箇所
- :「●」以外の、ワースト50

5. 交通安全課題箇所の抽出（5）

■一般/3協会アンケート 回答結果 “具体的な危険箇所”の反映

▶回答が多かった危険箇所は23箇所で、その内14箇所は対策済み又は抽出箇所、6箇所は事故件数が少ない箇所、3箇所が事故件数が多く特徴的事故もある箇所となっている。

番号	道路管理者	道路種別	路線名	箇所名 (交差点名)	死傷 事故率	死傷 事故件 数	アンケート重要指標の事故率					特徴的な事故指標の事故率					
							重大	子供	歩行者	通学路	あんしん 歩行	追突	二輪車	自転車	左折	右折	高齢者
				神奈川県全件(4423箇所)の平均	275.4	10.6	42.4	2.4	27.5	—	—	78.5	20.7	45.5	33.0	51.6	7.2
				代表50箇所の平均	833.3	23.3	146.4	17.9	105.8	—	—	196.7	79.1	167.8	144.1	186.8	45.9
1	神奈川県	国道	467	南藤沢	1606.9	41	314	0	235	●	314	235	470	353	392	0	
2	神奈川県	国道	467	郵便局前	1371.7	35	118	0	118	●	●	392	78	588	510	274	0
3	横浜市	主地(県)	22	立場	1339.9	51	210	131	158			263	105	420	79	342	210
4	神奈川県	主地(県)	26	衣笠十字路	1033.3	31	133	0	33	●		200	67	100	100	400	0
5	横浜国道	国道	16	東川島町西	917.2	34	27	27	27			297	135	27	108	216	135
6	横浜国道	国道	246	水引	798.6	17	0	0	0			329	0	188	376	94	0
7	横浜市	主地(県)	23	笠間	723.6	21	103	0	69	●	●	138	34	69	69	310	103
8	横浜国道	国道	1	一里塚	630.9	26	97	24	49	●		49	97	194	218	146	73
9	相武国道	国道	16	鶴野森	606.3	52	23	12	0			245	0	128	70	128	47
10	相武国道	国道	16	相模大野駅 南口入口	593.8	55	11	0	0			270	43	43	32	32	22
11	横浜国道	国道	246	厚木市立病院前	346.3	38	9	0	0			228	9	46	27	64	36
12	横浜国道	国道	1	十間坂	303.9	11	28	0	28	●	●	28	0	55	28	138	55
13	横浜国道	国道	246	文化会館前	204.3	22	9	0	9			111	0	0	28	37	0
14	相武国道	国道	16	橋本五差路	118.3	8	0	0	0	●		89	0	15	15	0	30
15	神奈川県	主地(県)	32	手広	583.9	19	92	0	92	●	●	123	92	246	123	123	0
16	横浜国道	国道	16	屏風ヶ浦	316.3	22	72	0	72	●	●	101	58	29	43	58	29
17	横浜国道	国道	246	切通し	131.6	25	11	5	0	●	●	105	5	5	11	0	0
18	神奈川県	県道	302	山崎跨線橋北	491.9	7	141	0	141	●		141	0	0	0	211	0
19	相模原市	主地(県)	57	上溝中坂下	370.1	8	93	0	0			93	46	93	46	0	0
20	横浜市	県道	401	阿久和	351.3	6	59	0	59			117	59	59	0	59	59
21	横浜市	主地(県)	22	矢沢	231.8	9	26	0	0			103	77	26	0	52	0
22	横浜国道	国道	246	沼代	173.0	7	25	0	25	●		99	25	0	0	25	0
23	横浜国道	国道	357	幸浦2丁目	82.5	6	14	0	14			14	0	41	14	41	14

14箇所
対策済み又は
抽出予定箇所

今回の対策箇所
50箇所に追加
するかどうか

3箇所
事故件数多く、
特徴的事故
がある

6箇所：
事故件数が
少ない箇所

5. 交通安全課題箇所の抽出（6）

■一般/3協会アンケート 回答結果 “具体的な危険箇所”の反映

▶ 下記4箇所は、「ヒヤリハット体験箇所」、「追加事故危険箇所」として、具体的に複数の意見が寄せられています。

しかし、事故率・事故件数・特徴事故の状況ともワースト10の範囲では無いため、交通安全課題箇所(50箇所)選定からは外されていました。

番号	道路管理者	道路種別	路線名	箇所名(交差点名)	死傷事故率	死傷事故件数	アンケート重要指標の事故率／件数					特徴的な事故指標の事故率／件数								
							重大	子供	歩行者	通学路	あんしん	追突	二輪車	自転車	左折	右折				
神奈川県全件(4423箇所)				平均事故率	275.4	—	42.4	2.4	27.5	—	—	78.5	20.7	45.5	33.0	51.6	7.2			
				平均事故件数	—	10.6	1.4	0.1	0.9	—	—	3.6	0.8	1.6	1.4	1.9	0.4			
代表50箇所				平均事故率	833.3	—	146.4	17.9	105.8	—	—	196.7	79.1	167.8	144.1	186.8	45.9			
				平均事故件数	—	23.3	4.0	0.5	2.8	—	—	6.2	2.2	4.4	3.8	4.8	1.5			
				平均事故件数×2	—	—	8.0	1.0	5.7	—	—	12.3	4.3	8.9	7.6	9.5	3.0			
15	神奈川県	主地(県)	32	手広	事故率	583.9	19	92	0	92	●		123	92	246	123	123	0		
					事故件数			3	0	3			4	3	8	4	4	0		
16	横浜国道	国道	16	屏風ヶ浦	事故率	316.3	22	72	0	72	●		101	58	29	43	58	29		
					事故件数			5	0	5			7	4	2	3	4	2		
17	横浜国道	国道	246	切通し	事故率	131.6	25	11	5	0	●	●	105	5	5	11	0	0		
					事故件数			2	1	0			20	1	1	2	0	0		

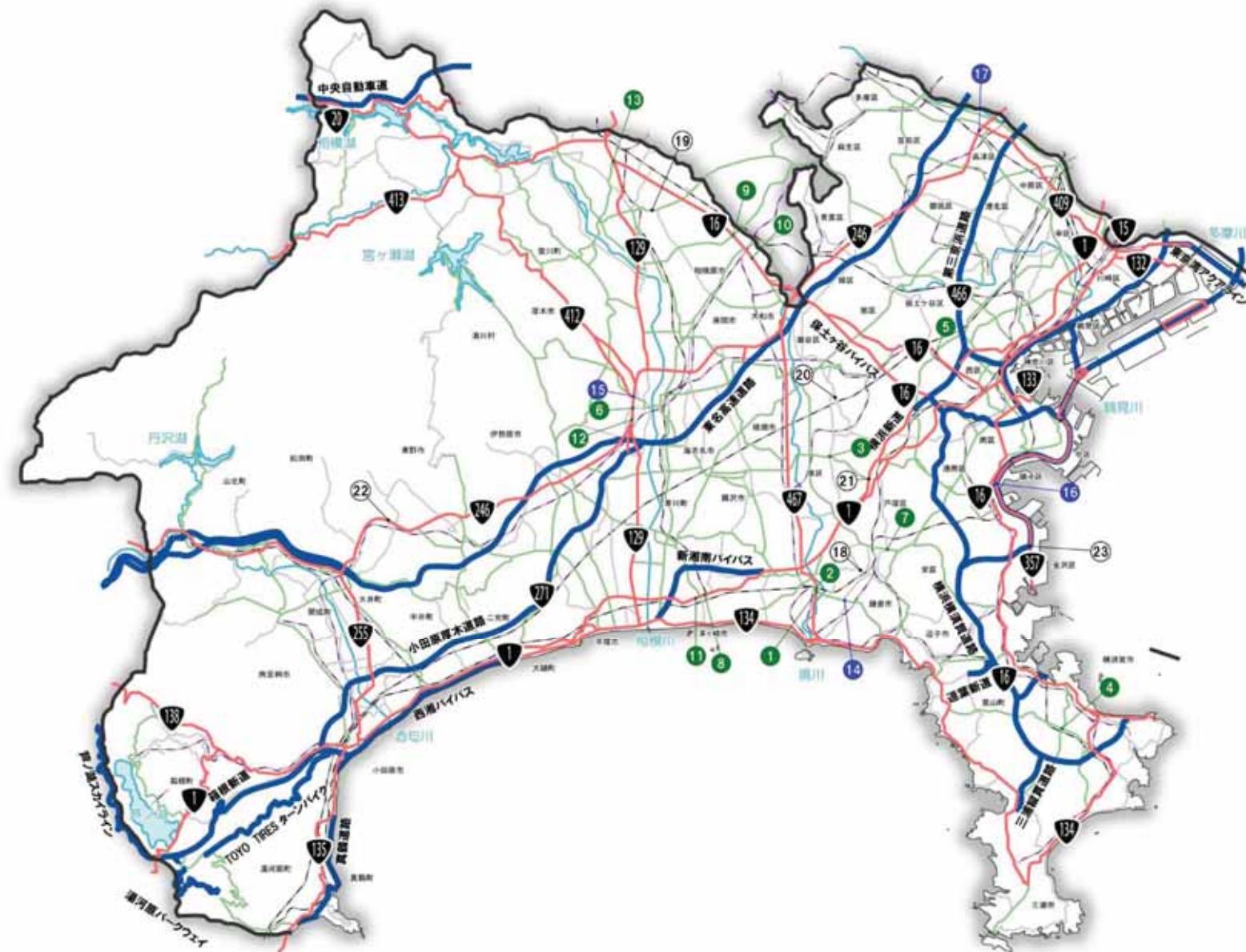
以下について、委員の方のご意見をお伺いします。

※赤字は代表箇所の平均事故件数を大きく上回っている箇所を示す。

上記3箇所の危険箇所について

- ①県民・道路利用者の意見を尊重して含める。
- ②個別の状況を確認して、含める/含めないを決める。
→別紙に判断材料として、箇所毎の意見・写真・道路構造の課題を整理しました。
- ③事故データによる集計結果から、外れたのであれば、含めない。

一般アンケート／協会ヒアリング重複意見箇所 位置図



一般アンケート／協会ヒアリング重複意見箇所 一覧表

番号	道路管理者	道路種別	路線名	箇所名(交差点名)	死傷事故率	死傷事故件数	アンケートヒアリング重複意見		アンケート重要な指標の事故率/件数					特徴的な事故指標の事故率/件数						備考					
							一般		協会		一般		協会		A	B	C	D	E	a	b	c	d	e	f
							一般	協会	一般	協会	一般	協会	一般	協会	一般	協会	一般	協会	一般	協会	一般	協会	一般	協会	
神奈川県全件(4423箇所)	平均事故率		275.4		-	-	-	-	-	-	42.4	2.4	27.5	-	-	78.5	20.7	45.5	33.0	51.6	7.2	-			
	平均事故件数		-		10.6	-	-	-	-	-	1.4	0.1	0.9	-	-	3.6	0.8	1.6	1.4	1.9	0.4	-			
	代表50箇所		平均事故率		833.3	-	-	-	-	-	146.4	17.9	105.8	-	-	196.7	79.1	167.6	144.1	186.8	45.9	-			
	平均事故件数		-		23.3	-	-	-	-	-	4.0	0.5	2.8	-	-	6.2	2.2	4.4	3.8	4.8	1.5	-			
平均事故件数×2		-		-		-	-	-	-	-	8.0	1.0	5.7	-	-	12.3	4.3	8.9	7.6	9.5	3.0	-			
1	神奈川県	国道	467 南藤沢	1606.9	41	●	●	●	●	●	314	0	235	●	●	314	235	470	353	392	0	代表50箇所抽出			
2	神奈川県	国道	467 郡便局前	1371.7	35	●	●	●	●	●	118	0	118	●	●	392	78	588	510	274	0	代表50箇所抽出			
3	横浜市	主地(県)	22 立場	1339.9	51	●	●	●	●	●	210	131	158	●	●	263	105	420	79	342	210	対策済み			
4	神奈川県	主地(県)	26 衣笠十字路	1033.3	31	●	●	●	●	●	133	0	33	●	●	200	67	100	100	400	0	対策済み			
5	横浜国道	国道	16 東川島町西	917.2	34	●	●	●	●	●	27	27	27	●	●	297	135	27	108	216	135	代表50箇所抽出			
6	横浜国道	国道	246 水引	798.6	17	●	●	●	●	●	0	0	0	●	●	329	0	188	376	94	0	代表50箇所抽出			
7	横浜市	主地(県)	23 芦間	723.6	21	●	●	●	●	●	103	0	69	●	●	138	34	69	69	310	103	対策済み			
8	横浜国道	国道	1 一里塚	630.9	26	●	●	●	●	●	97	24	49	●	●	49	97	194	218	146	73	対策済み			
9	相武国道	国道	16 鶴野森	606.3	52	●	●	●	●	●	23	12	0	●	●	245	0	128	70	128	47	対策済み			
10	相武国道	国道	16 相模大野駅南口入口	593.8	55	●	●	●	●	●	11	0	0	●	●	270	43	43	32	32	22	対策済み			
11	横浜国道	国道	246 厚木市立病院前	346.3	38	●	●	●	●	●	9	0	0	●	●	228	9	46	27	64	36	対策済み			
12	横浜国道	国道	1 十間坂	303.9	11	●	●	●	●	●	28	0	28	●	●	28	0	55	28	138	55	対策済み			
13	横浜国道	国道	246 文化会館前	204.3	22	●	●	●	●	●	9	0	9	●	●	111	0	0	28	37	0	対策済み			
14	相武国道	国道	16 横本五差路	118.3	8	●	●	●	●	●	0	0	0	●	●	89	0	15	15	0	30	対策済み			
15	神奈川県	主地(県)	32 手広	583.9	19	●	●	●	●	●	92	0	92	●	●	123	92	246	123	123	0	抽出候補2:二輪車、自転車の事故率・件数が代表箇所の平均以上 左括弧事故件数も代表箇所の平均以上 ただし、事故件数は代表箇所の平均以下			
16	横浜国道	国道	16 斎藤ヶ浦	316.3	22	●	●	●	●	●	72	0	72	●	●	101	58	29	43	58	29	抽出候補3:高齢者事故件数は代表箇所の平均以上であるが、 その他、突出した事故類型なし			
17	横浜国道	国道	246 切通し	131.6	25	●	●	●	●	●	11	5	0	●	●	105	5	5	11	0	0	抽出候補1:事故件数が平均以上で、追突事故件数が代表箇所の平均以上 ただし、追突事故率は代表箇所の平均以下			
18	神奈川県	県道	302 山崎跨線橋北	491.9	7	●	●	●	●	●	141	0	141	●	●	141	0	0	0	211	0	事故件数が少ない(16件未満)ことから、抽出候補から除外			
19	横須原市	主地(県)	57 上溝中坂下	370.1	8	●	●	●	●	●	93	0	0	●	●	93	46	93	46	0	0	事故件数が少ない(16件未満)ことから、抽出候補から除外			
20	横浜市	県道	401 同久和	351.3	6	●	●	●	●	●	59	0	59	●	●	117	59	59	0	59	59	事故件数が少ない(16件未満)ことから、抽出候補から除外			
21	横浜市	主地(県)	22 矢沢	231.8	9	●	●	●	●	●	26	0	0	●	●	103	77	26	0	52	0	事故件数が少ない(16件未満)ことから、抽出候補から除外			
22	横浜国道	国道	246 沼代	173.0	7	●	●	●	●	●	25	0	25	●	●	99	25	0	0	25	0	事故件数が少ない(16件未満)ことから、抽出候補から除外			
23	横浜国道	国道	357 幸浦2丁目	82.5	6	●	●	●	●	●	14	0	14	●	●	14	0	41	14	41	14	事故件数が少ない(16件未満)ことから、抽出候補から除外			

- A:亡くなれる方が多い重大な事故
- B:子供が被害に遭う事故
- C:歩行者が関連する事故
- D:通学路として利用されている道路
- E:歩行者交通量の多い道路(あんしん歩行エリア)
- a:車同士の事故(追突事故)
- b:二輪車が関連する事故
- c:自転車が関連する事故
- d:車同士の事故(左折事故)
- e:車同士の事故(右折事故)
- f:高齢者が被害に遭う事故
- :対策済み箇所または「代表50箇所抽出」
- :抽出候補箇所
- :事故件数が少ないと判断して除外
- :事故率が代表50箇所の平均を上回っている箇所
- :事故件数が代表50箇所の平均を上回っている箇所
- :赤字:事故件数が代表50箇所の平均を大きく上回っている箇所

●NO.15／ヒヤリハット箇所（1）

主要地方道32号(手広交差点)



ヒヤリ・ハットした場所／内容		年代	性別	住居地域	免許	利用手段	利用目的
手広	鎌倉市手広	65才以上	男性	鎌倉市	自動車類	自動車	業務
手広	鎌倉市	65才以上	女性	鎌倉市	自動車類	バス・タクシー	私用

死傷事故率: 583.9件/億台km
死傷事故件数: 19件



●NO.16／ヒヤリハット箇所（2）

■ 国道16号(屏風ヶ浦交差点)



ヒヤリ・ハットした場所／内容			年代	性別	住居地域	免許	利用手段	利用目的
屏風ヶ浦	横浜市磯子区	3箇所くらい行く方向があつて、ワインカーを出さない車の意思が分からず怖かった	65才以上	女性	横浜市	自動車類	自動車	
屏風ヶ浦	横浜市磯子区森	右折車の巻き込み	50代	女性	横浜市	自動車類	徒歩	通勤・通学

○ヒヤリハット内容:
右折時の巻き込み

○事務局考察:右折事故4件
交差点が大きく、右折レーンマークが明確でないため、走行しにくいのではないか

一般部
4車線

国道16号
横浜方面

死傷事故率:317件/億台km
死傷事故件数:22件



神奈川県の交通事故対策に関するアンケート

【アンケート調査の目的】

神奈川県内の交通事故を減少させるため、日頃、道路を利用されている皆さまの“事故に対する考え方”を把握することを目的に実施するものです。

【アンケート調査の概要】

- 「神奈川県安全性向上委員会（委員長：横浜国立大学 岡村 敏之 准教授）」では、神奈川県内の交通事故を減少させるため、優先的に対策を実施する場所を選定する予定です。
- 実施する場所は、“事故件数” “地域の声”を勘案して選定する予定です。
- 日頃、道路を利用されている皆さまが感じている、優先的に減らしてほしい“事故の種類” “事故の場所”について、広くご意見をいただき、対策を実施する場所の選定における参考資料として活用させていただきます。
- なお、対策を実施する場所は、自動車交通量が多い国道や主要な県道などから選定する予定です。

実施主体：神奈川県安全性向上委員会

事務局（お問い合わせ先）：国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 交通対策課

TEL：045-316-3541

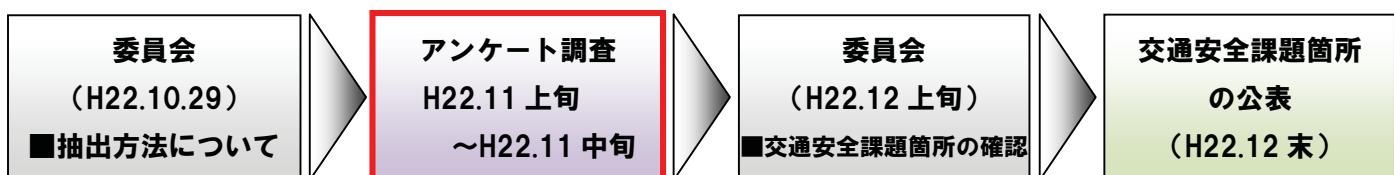
神奈川県安全性向上委員会の取り組み

【これまでの取り組み】

- 「神奈川県安全性向上委員会」は、交通事故対策について、様々な分野の方々から意見をお伺いし、「要対策箇所の選定」「事故対策の立案」「対策結果の確認」について、検討することを目的に平成17年12月に設置されました。これまでに5回開催され、対策箇所として15箇所を選定し、事故対策の立案と対策結果の確認を行いました。

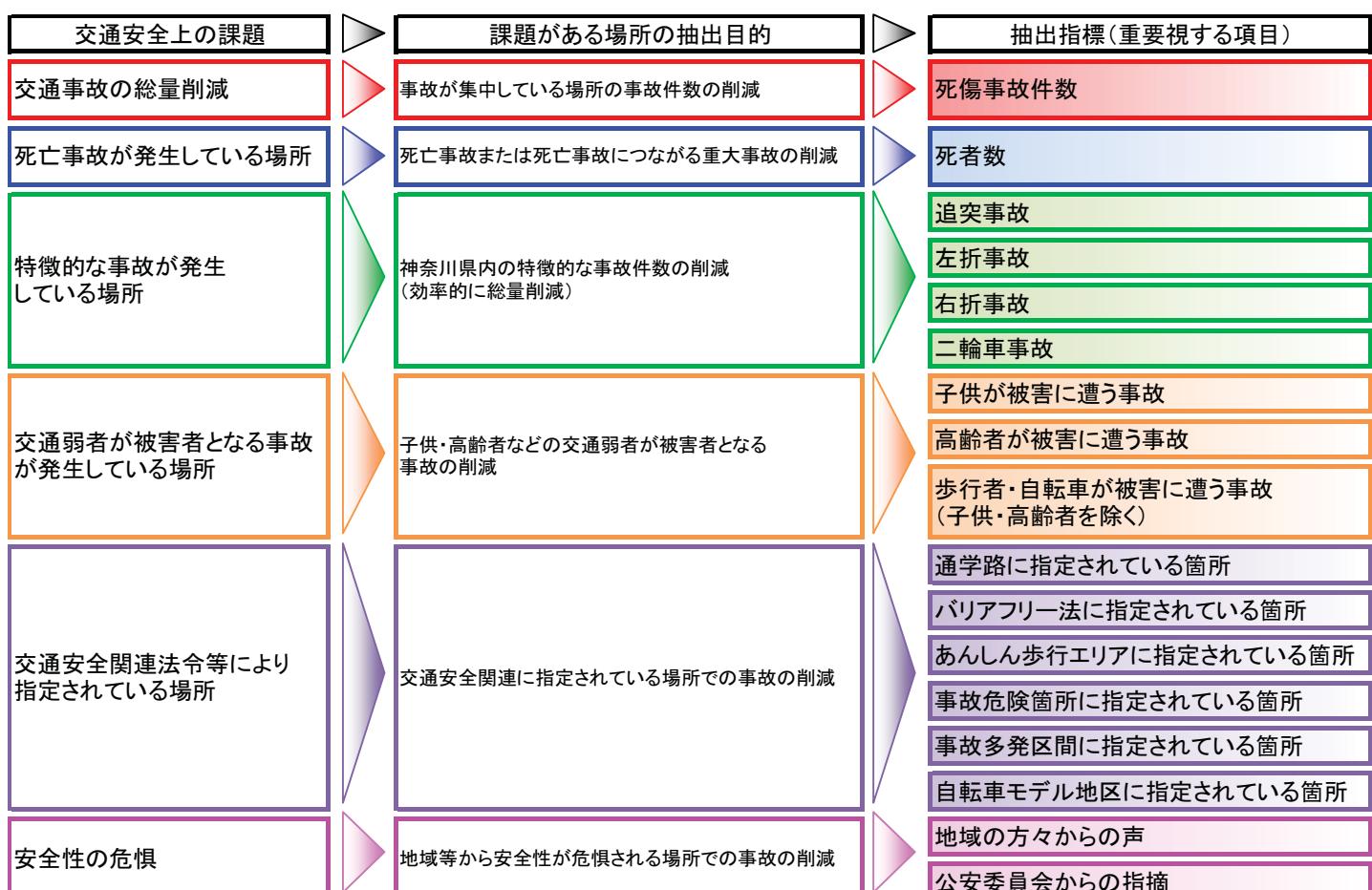
【これからの取り組み】

- 「神奈川県安全性向上委員会」では、新たに優先的に対策を実施する場所（交通安全課題箇所）を選定し、平成22年12月末を目処に公表する予定です。



交通安全課題箇所の選定

- 「神奈川県安全性向上委員会」では、以下の地域特性、交通事故特性に配慮し、対策を実施する場所を検討しています。



神奈川県の交通事故特性

都道府県別死傷事故率 (H18年度)



死傷事故率 **全国第1位**

※死傷事故率とは、1万台の車が1万キロ走行した場合に発生する事故件数を示しています。

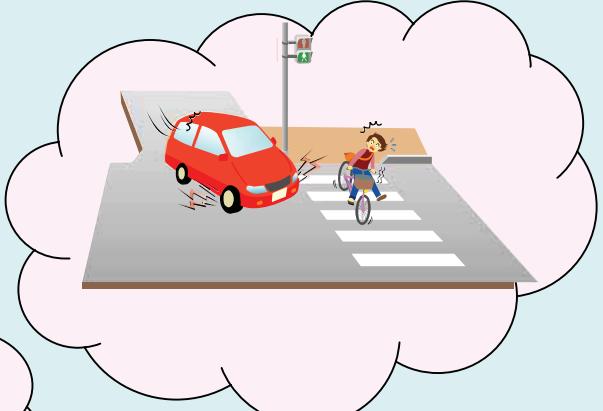
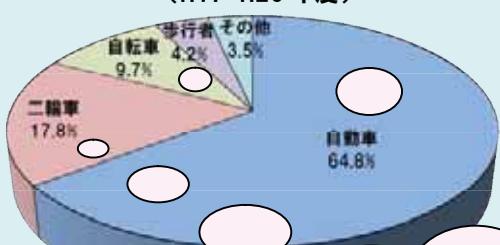
都道府県別死傷事故件数 (H16-H20年度平均)



死傷事故件数 **全国第4位**

死傷事故件数 (車両等の種類別)

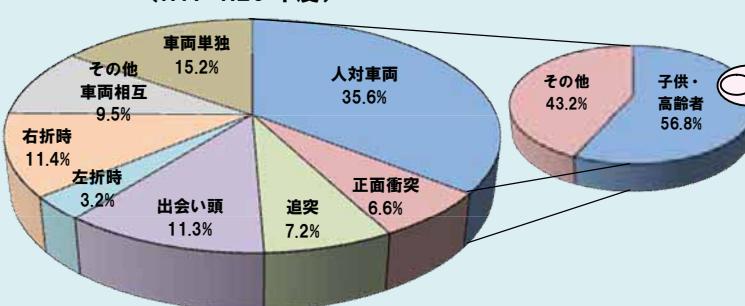
(H17-H20年度)



●自動車事故に次いで、「**二輪車**」「**自転車**」が関連する事故が多い

死亡事故件数 (事故の種類別)

(H17-H20年度)



●死亡につながる危険性の高い事故は「**人対車両**」事故

●「**歩行者・子供・高齢者が被害に遭う**」事故

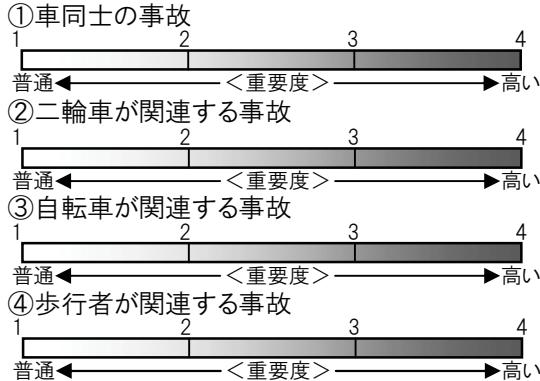
神奈川県道路利用者アンケート票

本アンケートは、日頃道路を利用されている皆さまが感じている、優先的に減らしてほしい“事故の種類”“事故の場所”について、広くご意見をいただき、“優先的に対策が必要な場所”を選ぶための参考資料とするために実施するものです。

問1:どのような“事故の種類”を減らして欲しいと思いますか。

それぞれの種類について、該当する番号(1~4:重要度)を○で囲んで下さい。

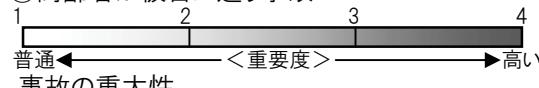
1. 乗り物の種類



2. 被害に遭う方の種類



⑥高齢者が被害に遭う事故



3. 事故の重大性

⑦亡くなられる方が多い重大な事故



4. その他

⑧その他()

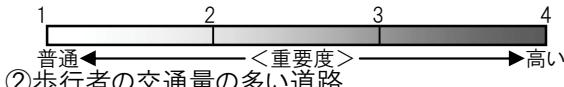
問2:問1について、特に減らしてほしいと思う“事故の種類”を1つ○で囲んで下さい。

1. ① 2. ② 3. ③ 4. ④ 5. ⑤ 6. ⑥ 7. ⑦ 8. ⑧

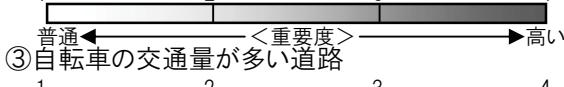
問3:どのような“場所で起きる事故”を減らして欲しいと思いますか。

それぞれの場所について、該当する番号(1~4:重要度)を○で囲んで下さい。

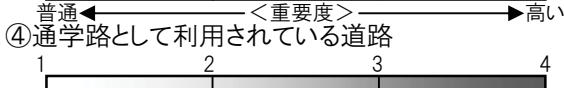
①自動車の交通量の多い道路



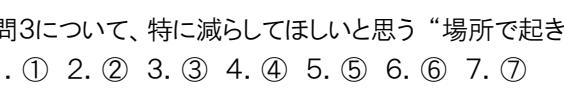
②歩行者の交通量の多い道路



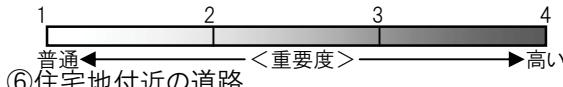
③自転車の交通量が多い道路



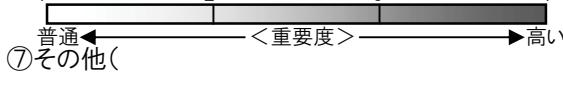
④通学路として利用されている道路



⑤駅付近の道路



⑥住宅地付近の道路



⑦その他()

問4:問3について、特に減らしてほしいと思う“場所で起きる事故”を1つ○で囲んで下さい。

1. ① 2. ② 3. ③ 4. ④ 5. ⑤ 6. ⑥ 7. ⑦

問5:ヒヤリ・ハットした(交通事故になりそうになった)体験がございましたら、具体的な場所(路線名・交差点名・住所など)やヒヤリ・ハットした内容(危ないと思った内容)について、ご意見をお寄せ下さい。

■路線名_____	■住所_____
■交差点名_____	■ヒヤリ・ハットした内容_____

【回答される方、ご自身についてお答え下さい。】

問6:年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代(64才以下) 7. 65才以上

問7:性別 1. 男性 2. 女性

問8:住所 市・区・町・村

問9:運転免許の取得状況(最も利用頻度が高い免許) 1. 自動車類 2. 二輪車(原動機付自転車を含む) 3. 未取得

問10:神奈川県内の道路を利用する主な手段 1. 徒歩 2. 自転車 3. 二輪車 4. 自動車 5. バス・タクシー

問11:神奈川県内の道路を利用する主な目的

1. 通勤・通学 2. 業務(自家用車:白ナンバー) 3. 業務(事業用車:緑ナンバー)
4. 買い物 5. 私用 6. 観光・レジャー 7. その他()

本アンケートでお答え頂いた意見および個人情報は、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません。

神奈川県の交通事故対策に関するヒアリング

【ヒアリング調査の目的】

神奈川県内の交通事故を減少させるため、日頃、業務として道路を利用されている皆さまが、主に業務中に感じている“事故が多い箇所”“ヒヤリ・ハットした箇所（交通事故になりそうになった箇所）”を把握することを目的に実施するものです。

【ヒアリング調査の概要】

- 「神奈川県安全性向上委員会（委員長：横浜国立大学 岡村 敏之 准教授）」では、神奈川県内の交通事故を減少させるため、優先的に対策を実施する場所を選定する予定です。
- 実施する場所は、“事故件数”“地域の声”を勘案して選定する予定です。
- 日頃、業務として道路を利用されている皆さまが、主に業務中に感じている、“事故が多い箇所”“ヒヤリ・ハットした箇所（交通事故になりそうになった箇所）”について、広くご意見をいただき、対策を実施する場所の選定における参考資料として活用させていただきます。
- なお、対策を実施する場所は、自動車交通量が多い国道や主要な県道などから選定する予定です。

実施主体：神奈川県安全性向上委員会

事務局（お問い合わせ先）：国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 交通対策課

TEL：045-316-3541

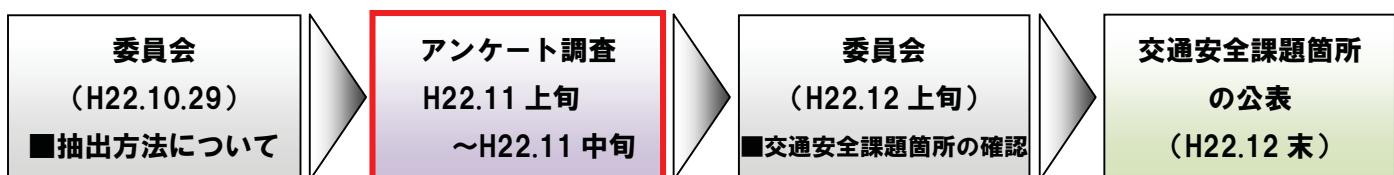
神奈川県安全性向上委員会の取り組み

【これまでの取り組み】

- 「神奈川県安全性向上委員会」は、交通事故対策について、様々な分野の方々から意見をお伺いし、「要対策箇所の選定」「事故対策の立案」「対策結果の確認」について、検討することを目的に平成17年12月に設置されました。これまでに5回開催され、対策箇所として15箇所を選定し、事故対策の立案と対策結果の確認を行いました。

【これからの取り組み】

- 「神奈川県安全性向上委員会」では、新たに優先的に対策を実施する場所（交通安全課題箇所）を選定し、平成22年12月末を目処に公表する予定です。



交通安全課題箇所の選定

- 「神奈川県安全性向上委員会」では、以下の地域特性、交通事故特性に配慮し、対策を実施する場所を検討しています。



神奈川県の交通事故特性

都道府県別死傷事故率 (H18年度)



死傷事故率**全国第1位**

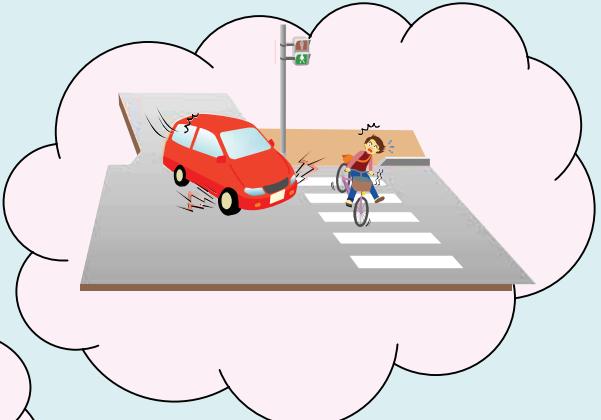
都道府県別死傷事故件数 (H16-H20年度平均)



死傷事故件数**全国第4位**

死傷事故件数 (車両等の種類別)

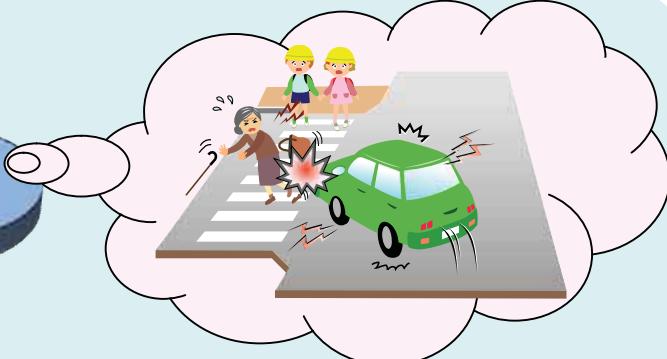
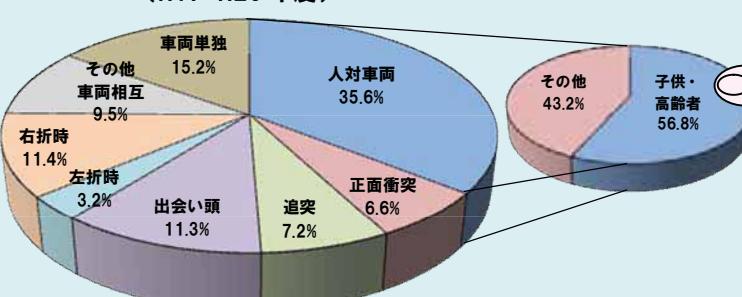
(H17-H20年度)



●自動車事故に次いで、「**二輪車**」「**自転車**」が関連する事故が多い

死亡事故件数 (事故の種類別)

(H17-H20年度)



●死亡につながる危険性の高い事故は「**人対車両**」事故

●「**歩行者・子供・高齢者が被害に遭う**」事故

神奈川県道路利用者ヒアリング票

本ヒアリングは、日頃、業務として道路を利用されている皆さまが、主に業務中に感じている“事故が多い場所”“ヒヤリ・ハットした(交通事故になりそうになった)体験”について、広くご意見をいただき、“優先的に対策が必要な場所”を選ぶための参考資料とするために実施するものです。

問1:別途資料に示す「死傷事故率上位100箇所」について、どのように思いますか。

該当する番号1つを○で囲んで下さい。

1. (概ね)実感と合っている 2. (あまり)実感とあっていない 3. 分からない

問2:別途資料に示す「死傷事故率上位100箇所」以外で、追加すべき場所(交差点、区間)がありましたら、路線名・交差点名・住所を記入して下さい。

路 線 名: _____

交差点名: _____

住 所: _____

問3:ヒヤリ・ハットした(交通事故になりそうになった)体験がございましたら、具体的な場所(路線名・交差点名・住所など)やヒヤリ・ハットした内容(危ないと思った内容)について、ご意見をお寄せ下さい。

■路 線 名: _____

■交 差 点 名: _____

■住 所: _____

■ヒヤリ・ハットした内容: _____

【回答される方、ご自身についてお答え下さい。】

問4:年齢

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代(64才以下) 7. 65才以上

問5:性別

1. 男性 2. 女性

問6:住所 市・区・町・村

問7:所属協会

1. 神奈川県トラック協会 2. 神奈川県タクシー協会 3. 神奈川県バス協会

本ヒアリングでお答え頂いた意見および個人情報は、他の目的で使用したり、第三者に使用せたりすることは一切いたしません。

死傷事故率とは・・・?

●交通事故の発生割合を定量的に示す成果指標です

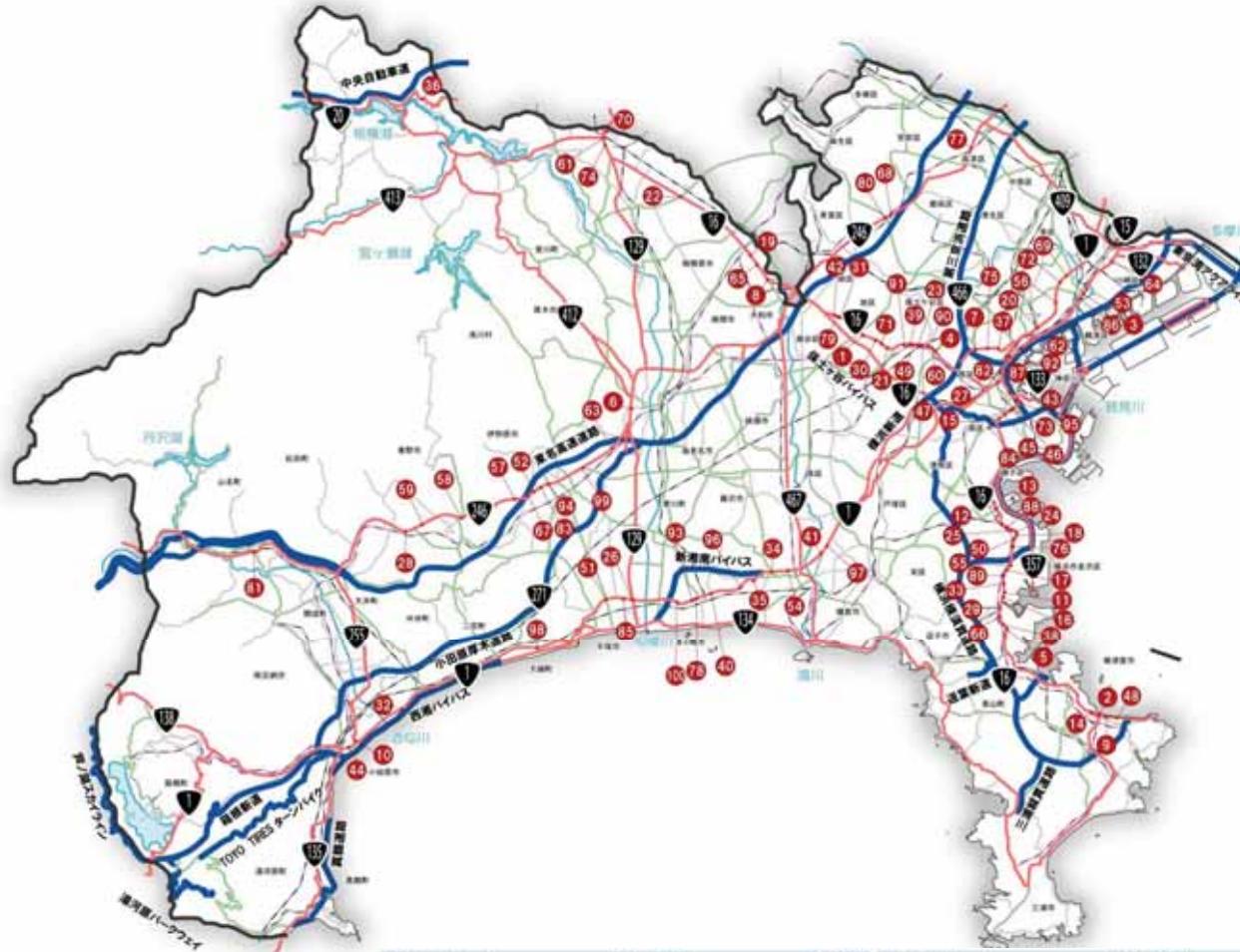
⇒1万台の車が1万キロ走行した場合(1億台キロ)に、発生する事故件数

死傷事故率(件／億台キロ) =

死傷事故件数(件／年)

(区間延長(km) × 交通量(台／日) × 365(日))

～ 神奈川県の死傷事故率上位 100箇所（未対策箇所）～



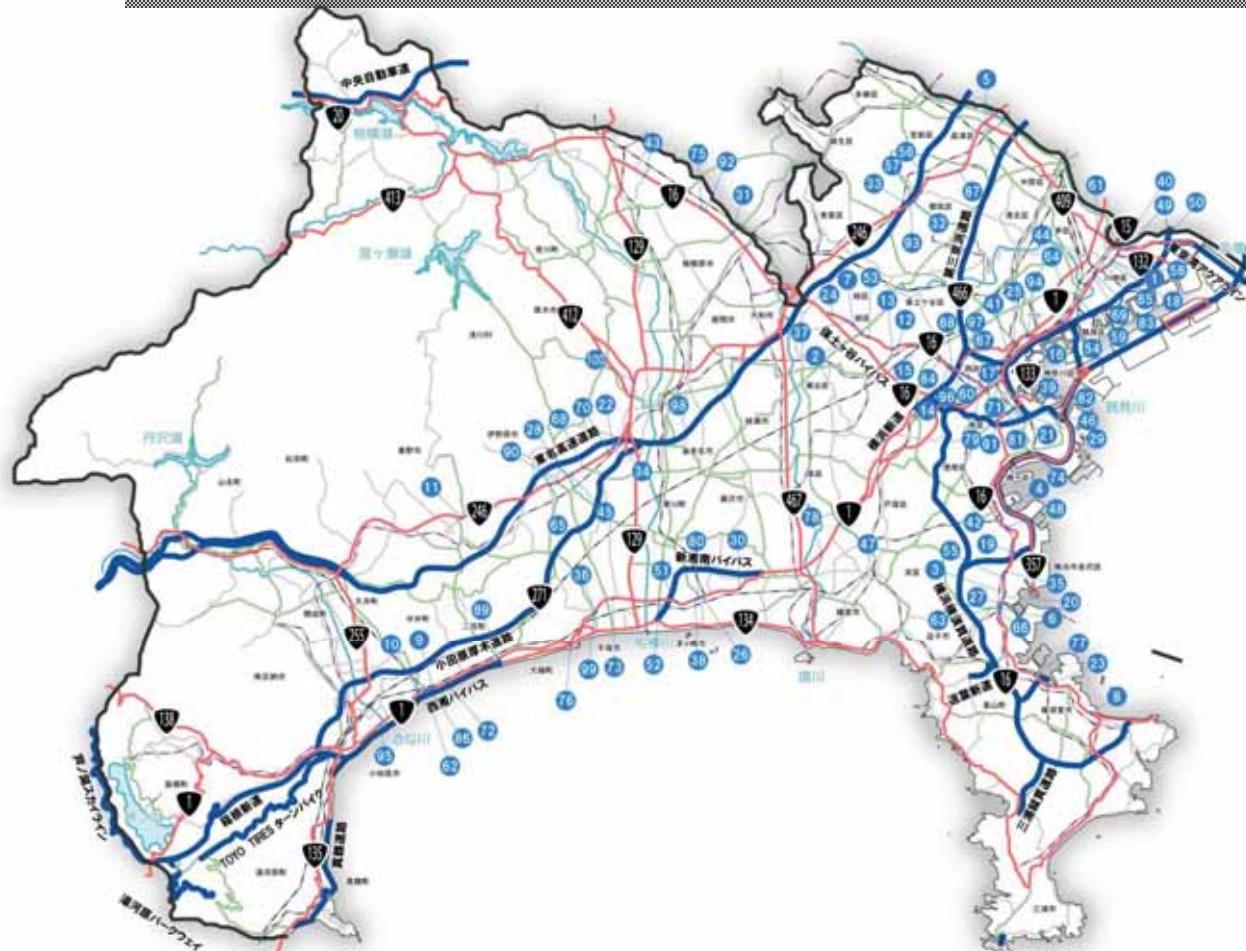
※注意

■当該資料のリストは、「死傷事故率」のみに着目して、上位から並べたものであり、このリストから新たに対策を実施する場所（交通安全課題箇所）を選定するわけではありません。

■対策を実施する箇所は「死傷事故率」以外に地域特性・交通事故特性・アンケート調査結果・ヒアリング結果を参考に選定する予定です。

順位	路線名	交差点名/区間名	平均年間事故件数	順位	路線名	交差点名/区間名	平均年間事故件数
①	国道 16 号(文) 関東	芦塚区影取町 かっぱ寿司戸塚影取店前～影取町第二歩道橋付近	15.00	①	国道 16 号(文) 上川井交差点前		3.00
②	国道 16 号(文) 湘南道	小田原市板橋 新横見附交差点～山田クリニック前付近	3.50	②	国道 16 号(文) 中村駅前北		5.50
③	国道 16 号(文) 宮袋町入口	羽衣町3丁目	5.75	③	国道 16 号(文) クリオ春番屋～東海道新幹線高架下		5.75
④	国道 16 号(文) 大洋港港前	保土ヶ谷区西谷町	8.75	④	国道 16 号(文) デニーズ今宿西店～下白横交差点付近		2.00
⑤	国道 16 号(文) 宮前駅入口	横浜駅前	4.25	⑤	国道 16 号(文) 横濱駅前		5.50
⑥	国道 1 号(文) 横濱駅前	横濱駅前	5.25	⑥	国道 16 号(文) デニーズ今宿西店～下白横交差点付近		4.25
⑦	国道 246 号(文) 伊勢原市板橋内	伊勢原市板橋内	7.25	⑦	国道 16 号(文) 駿河会館前		6.75
⑧	国道 15 号(文) 駿河会館前	横濱駅前	4.00	⑧	国道 16 号(文) 金沢区西条1丁目・西友脇		4.00
⑨	国道 1 号(文) 宮袋	宮袋	5.75	⑨	国道 246 号(文) 伊勢原市大往住		8.00
⑩	国道 246 号(文) 岩戸岡公園前～トステムショールーム前付近	岩戸岡公園前～トステムショールーム前付近	8.00	⑩	国道 246 号(文) 駒ヶ澤高校付近		4.00
⑪	国道 246 号(文) 新町	新町	4.00	⑪	国道 16 号(文) 東川島町		4.00
⑫	国道 16 号(文) (仮) 国道413号交差点	東川島町	2.50	⑫	国道 15 号(文) 神奈川2丁目		8.00
⑬	国道 246 号(文) 鶴甲宮前	鶴甲宮前	3.25	⑬	国道 15 号(文) 宮前町南側横交差点		4.75
⑭	国道 15 号(文) 宮前町南側横交差点	中和田	9.75	⑭	国道 16 号(文) 濱ヶ崎小学校入口		4.75
⑮	国道 16 号(文) 濱ヶ崎小学校入口	横版	4.25	⑮	国道 246 号(文) 吉ヶ尾駅前		9.00
⑯	国道 246 号(文) 吉ヶ尾駅前	吉ヶ尾駅前	5.50	⑯	国道 1 号(文) 番台		5.50
⑰	国道 1 号(文) 番台	番台寺前	2.75	⑰	国道 16 号(文) 今宿西町		3.25
⑱	国道 16 号(文) 今宿西町～駒見町交差点～デニーズ今宿西町	今宿西町	3.25	⑱	国道 1 号(文) 三ツ沢中町		8.50
⑲	国道 1 号(文) 三ツ沢中町	三ツ沢中町	5.00	⑲	国道 16 号(文) 金沢区富岡東		6.25
⑳	国道 16 号(文) セレモニカ富岡前～富岡駅入口交差点付近	セレモニカ富岡前～富岡駅入口交差点付近	7.75	⑳	国道 246 号(文) 身代り不動		7.75
㉑	国道 1 号(文) 茅ヶ崎新光町	茅ヶ崎新光町	8.75	㉑	国道 16 号(文) 新光町交差点～茅ヶ崎警察署前交差点		2.50
㉒	国道 16 号(文) 宮の下	宮の下	1.50	㉒	国道 246 号(文) 吉ヶ尾		1.50
㉓	国道 246 号(文) 吉ヶ尾	吉ヶ尾	3.25	㉓	国道 1 号(文) 宮地		3.25
㉔	国道 1 号(文) 戸塚警察署前	戸塚警察署前	8.75	㉔	国道 246 号(文) 伊勢原市白根		7.25
㉕	国道 246 号(文) 白根交差点～ハイゼイリヤ伊勢原店付近	白根交差点～ハイゼイリヤ伊勢原店付近	7.25	㉕	国道 16 号(文) 駒ヶ澤高校横交差点		4.75
㉖	国道 16 号(文) 松原小学校入口	松原小学校入口	4.50	㉖	国道 1 号(文) 駒見駅入口		4.75
㉗	国道 16 号(文) 駒木2丁目	駒木2丁目	5.00	㉗	国道 16 号(文) 宮前駅東3丁目		3.50
㉘	国道 16 号(文) 宮前駅東3丁目	宮前駅東3丁目	3.50	㉘	国道 16 号(文) 金沢区谷津町		8.25
㉙	国道 16 号(文) 金沢区谷津町	谷津町	3.50	㉙	国道 16 号(文) 駒の木		3.50
㉚	国道 16 号(文) 駒の木	駒の木	7.00	㉚	国道 16 号(文) 白根不動交差点～タイヤガーデン前付近		5.25
㉛	国道 1 号(文) 青木横	青木横	5.25	㉛	国道 1 号(文) 茅ヶ崎市十間坂		6.75
㉜	国道 1 号(文) 茅ヶ崎市十間坂	茅ヶ崎市十間坂	6.75	㉜	国道 246 号(文) 横戸		3.75
㉝	国道 246 号(文) 横戸	横戸	3.75	㉝	国道 16 号(文) 石川町		4.50
㉞	国道 16 号(文) 石川町	石川町	4.50	㉞	国道 1 号(文) 羽衣町		4.50
㉟	国道 1 号(文) 羽衣町	羽衣町	4.50	㉟	国道 1 号(文) 1号車本宿町		7.50
㉟	国道 1 号(文) 1号車本宿町	LUCAS本宿町～湘南net渋水都付近	7.50	㉟	国道 1 号(文) 戸塚区戸塚駅前		11.25
㉟	国道 1 号(文) 戸塚区戸塚駅前	戸塚区戸塚駅前	11.25	㉟	国道 1 号(文) ステーキのどん横浜戸塚店前～かっぱ寿司戸塚店		2.75
㉟	国道 1 号(文) ステーキのどん横浜戸塚店前～かっぱ寿司戸塚店	かっぱ寿司戸塚店前～横浜戸塚トヨベット前付近	2.75	㉟	国道 246 号(文) 小金城		2.75
㉟	国道 246 号(文) 小金城	小金城	2.75	㉟	国道 1 号(文) 岩ヶ崎市下町屋		4.00
㉟	国道 1 号(文) 岩ヶ崎市下町屋	岩ヶ崎市下町屋	4.00	㉟	国道 1 号(文) 岩井井橋交差点～横浜トヨベット前付近		4.00

～ 神奈川県の死傷事故率上位 100箇所（対策済み箇所）～



番号 路線名 交差点名/区間名

① 国道 15 号交) 新河岸
② 国道 16 号交) 都岡
③ 国道 16 号交) 鹿ヶ崎
④ 国道 357 号交) 暮天川西側(東側)
⑤ 国道 246 号交) 溝ノ口
⑥ 国道 16 号交) 六浦町
⑦ 国道 16 号交) 川井本町
⑧ 国道 16 号交) 敦賀医療センター前
⑨ 国道 1 号交) 国府津駅前
⑩ 国道 1 号交) 橋木橋
⑪ 国道 246 号交) 名古木
⑫ 国道 16 号交) 白根
⑬ 国道 16 号交) 鶴ヶ峰
⑭ 国道 16 号交) 和田町
⑮ 国道 16 号交) 舞和台入口
⑯ 国道 1 号交) ツツ谷
⑰ 国道 1 号交) 滝松町
⑱ 国道 15 号交) 元木町
⑲ 国道 16 号交) 鶴見台駅前
⑳ 国道 16 号交) 荘内2丁目

番号 路線名 交差点名/区間名

平均年間 事故件数
15.75
8.00
10.25
10.00
7.50
8.50
5.75
3.75
5.50
5.50
7.75
7.75
7.50
7.25
7.00
10.00
12.25
11.00
6.50
6.25

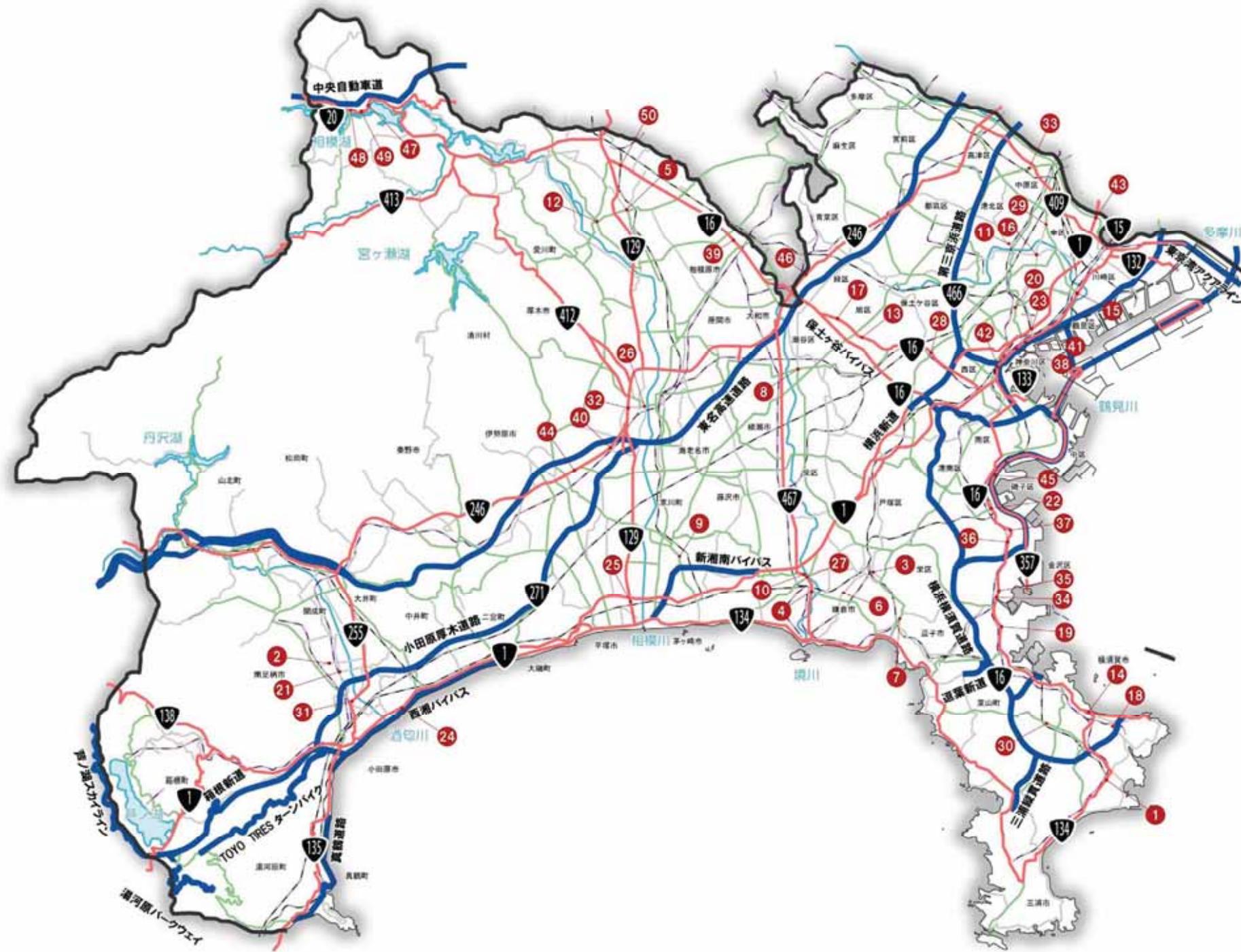
① 国道 16 号交) 長者町5丁目
② 国道 246 号交) 芦木市要甲
③ 国道 16 号交) 桜子橋交差点～カスト芦木市要甲店付近
④ 国道 16 号交) 江橋
⑤ 国道 16 号交) 亀甲山
⑥ 国道 1 号交) 西神奈川
⑦ 国道 1 号交) 一尾塚
⑧ 国道 16 号交) 渓坪
⑨ 国道 246 号交) 市役所入口
⑩ 国道 16 号交) 滝町2丁目北
⑪ 国道 1 号交) 夏小和田
⑫ 国道 16 号交) 鶴野森
⑬ 国道 246 号交) 莢田
⑭ 国道 246 号交) 江田駅東
⑮ 国道 1 号交) 船子橋
⑯ 国道 16 号交) COCO'S金沢文庫店～サンクス金沢文庫店付近
⑰ 国道 1 号交) 朝霞物販前
⑱ 国道 16 号交) 北区川井本町
⑲ 国道 16 号交) 旭高松入口交差点～福泉寺交差点
⑳ 国道 1 号交) 新琴葉
㉑ 国道 16 号交) 紅葉坂
㉒ 国道 15 号交) 宮本町

番号 路線名 交差点名/区間名

平均年間 事故件数
8.00
5.25
9.75
10.75
4.25
6.75
12.75
10.00
3.75
3.75
4.75
7.00
3.25
6.25
6.50
6.75
8.75
5.50
6.00
5.50
9.25
3.00
6.75
6.25
4.75
5.25
5.25
3.50
5.50
6.75
7.50
2.75
5.00
5.25
7.50
3.25
6.75
6.50
4.75
4.25
5.00
3.00
5.00
7.50
6.25
5.00
7.00
4.50
3.00
3.00
6.75
6.75
12.50
5.00
3.25
4.25
4.50
9.50
4.00
8.00

～『事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）』（案）位置図～

資料－3



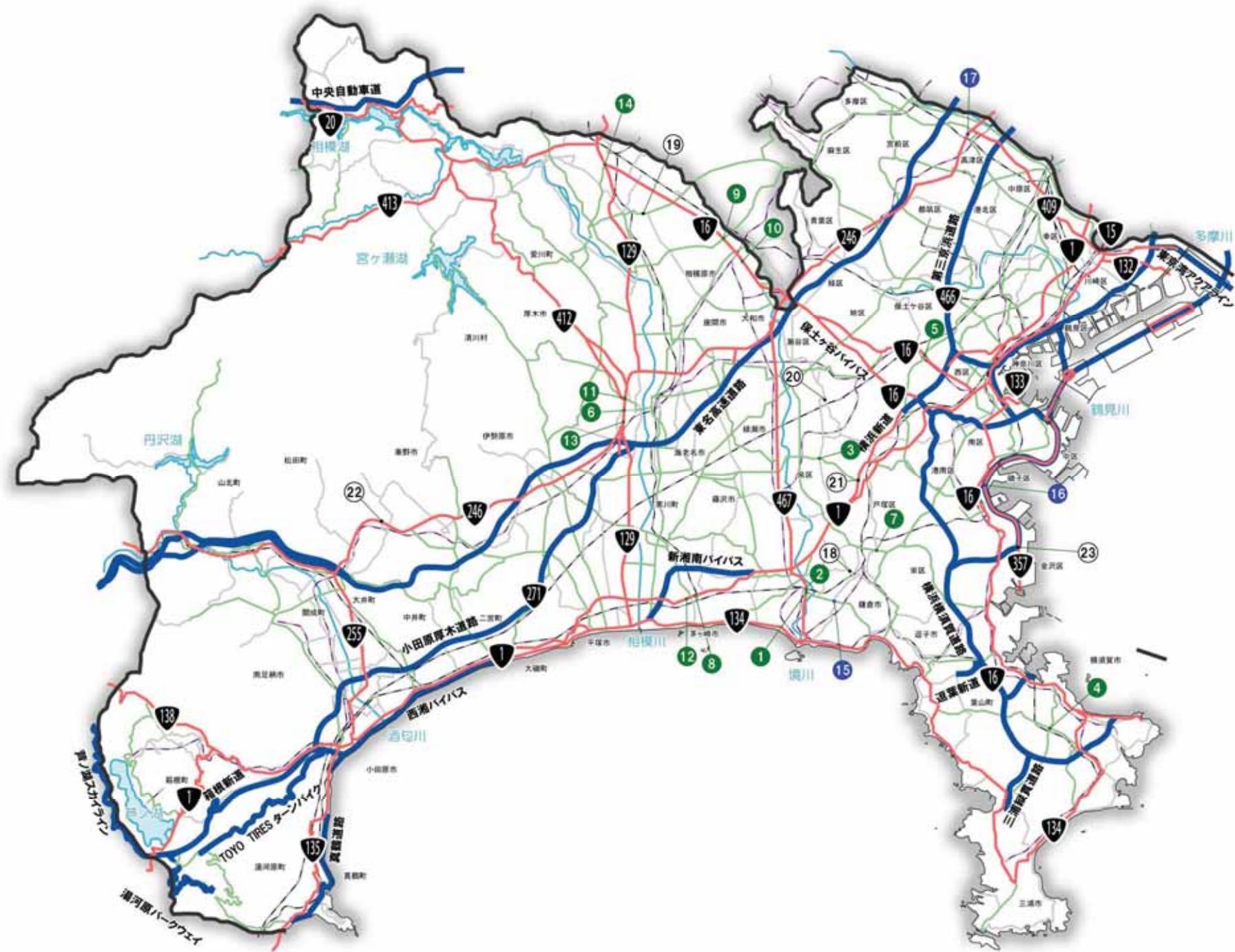
～『事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）』（案）一覧表～

番号	道路管理者	道筋種別	路線名	箇所名(交差点名)	死傷 事故率	死傷 事故件数	死傷 事故率	アンケート重要指標					特徴的な事故指標					追加 すべき ヒヤリ ハット	地元要望	備考
								A	B	C	D	E	a	b	c	d	e			
1	神奈川県	国道	134	久里浜	2076.4	35	●	○	○	○	●	●	○	●	●	●	●			
2	神奈川県	県道	717	小田原市柳新田40-1～堀之内	1836.7	37	●	○	○	○	●	●	●	●	○	●	●			
3	神奈川県	県道	301	大船駅東口交通広場前	1652.9	16	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●			
4	神奈川県	国道	467	南浦沢	1606.9	41	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●			
5	相模原市	主地(県)	54	上溝	1561.2	29	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
6	神奈川県	県道	304	古鎌橋	1536.9	20	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●			
7	神奈川県	主地(県)	21	鎌倉市小町	1497.4	24	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
8	横浜市	県道	40	瀬谷四丁目	1453.2	38	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●			
9	神奈川県	主地(県)	44	変電所前	1408.2	28	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●			
10	神奈川県	国道	467	郵便局前	1371.7	35	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●			
11	横浜市	県道	111	駒岡交差点前	1092.2	23	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●			
12	相模原市	主地(県)	48	上田名	1040.6	26	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●			
13	横浜国道	国道	16	篠路	1001.5	25	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
14	横浜国道	国道	16	三春町4丁目	996.9	17	○	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●			
15	横浜国道	国道	15	鶴見署前	994.8	49	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
16	横浜市	県道	106	綱島駅西口	946.9	17	○	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●			
17	横浜国道	国道	16	川井本町	921.4	23	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
18	神奈川県	県道	208	桜ヶ丘入口	884.1	25	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
19	横浜国道	国道	16	遠浜駅前	862.3	39	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●			
20	横浜市	県道	2	港北小学校入口	828.7	22	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●			
21	神奈川県	県道	720	豊田駅前	685.6	16	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
22	横浜国道	国道	16	聖天橋	651.1	24	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●			
23	横浜国道	国道	1	入江町	582.6	31	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
24	横浜国道	国道	1	酒匂県営住宅入口	519.8	18	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●			
25	神奈川県	国道	129	平塚市馬入本町	1228.8	21	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
26	神奈川県	主地(県)	40	東町郵便局前	1081.8	31	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●			
27	神奈川県	国道	467	藤沢橋	1019.0	26	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
28	横浜国道	国道	16	東川島町西	917.2	34	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
29	川崎市	主地(県)	14	北加瀬3丁目(幸区)	910.3	31	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
30	神奈川県	主地(県)	27	三浦高校前	884.3	22	○	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●			
31	神奈川県	国道	255	顛末入口	845.2	24	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
32	横浜国道	国道	246	水引	798.6	17	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
33	川崎市	主地(県)	45	上小田中6丁目(中原区)	774.6	17	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
34	横浜国道	国道	16	菅原署前	678.2	25	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
35	横浜国道	国道	16	泥亀2丁目	678.2	25	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
36	横浜国道	国道	16	青砥坂	569.7	21	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
37	横浜国道	国道	16	杉田	651.1	24	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
38	横浜国道	国道	15	神奈川2丁目	430.4	32	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
39	相武国道	国道	16	共和三丁目(交)	315.2	22	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
40	横浜国道	国道	246	愛甲宮前	424.3	13	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
41	横浜国道	国道	15	出田町入口	282.5	21	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
42	横浜国道	国道	1	金港町	265.5	24	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
43	横浜国道	国道	1	多摩川大橋付近	246.0	19	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
44	横浜国道	国道	246	伊勢原市下糟屋付近	239.3	11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
45	横浜国道	国道	357	磯子駅付近	133.7	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
46	横浜国道	国道	246	つくしの交差点付近	104.5	18	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
47	相武国道	国道	20	吉野(单)相模原市	51.1	4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
48	相武国道	国道	20	相模原市藤野町小渕	51.1	4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
49	相武国道	国道	20	相模原市藤野町小渕	46.3	4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
50	相武国道	国道	16	大河原陸橋(单)	26.8	5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			

- A : 亡くなられる方が多い重大な事故
- B : 子供が被害に遭う事故
- C : 歩行者が関連する事故
- D : 通学路として利用されている道路
- E : 歩行者交通量の多い道路(あんしん歩行エリア)
- a : 車同士の事故(追突事故)
- b : 二輪車が関連する事故
- c : 自転車が関連する事故
- d : 車同士の事故(左折事故)
- e : 車同士の事故(右折事故)
- f : 高齢者が被害に遭う事故
- :死傷事故率、アンケートで選ばれた指標に配慮
- :神奈川県の事故特性、ヒヤリハット意見に配慮
- :地域の声、公安委員会からの指標に配慮
- :死傷事故率、特徴的な事故指標 ワースト10
- :アンケート重要指標 ワースト5
- :その他「地元要望」「追加すべき」「ヒヤリハット」該当箇所
- :「●」以外の、ワースト50

～ 一般アンケート／協会ヒアリング重複意見箇所 位置図 ～

資料 - 4



～ 一般アンケート／協会ヒアリング重複意見箇所 一覧表 ～

番号	道路管理者	道路種別	路線名	箇所名(交差点名)	死傷事故率	死傷事故件数	アンケート・ヒアリング重複意見				アンケート重要指標の事故率／件数					特徴的な事故指標の事故率／件数						備考				
							一般	協会	一般 協会	追加 すべて	A	B	C	D	E	a	b	c	d	e	f					
神奈川県全件(4423箇所)	平均事故率					275.4	—	—	—	—	42.4	2.4	27.5	—	—	78.5	20.7	45.5	33.0	51.6	7.2	—				
	平均事故件数					—	10.6	—	—	—	1.4	0.1	0.9	—	—	3.6	0.8	1.6	1.4	1.9	0.4	—				
	代表50箇所					平均事故率	833.3	—	—	—	146.4	17.9	105.8	—	—	196.7	79.1	167.8	144.1	186.8	45.9	—				
	平均事故件数					—	23.3	—	—	—	4.0	0.5	2.8	—	—	6.2	2.2	4.4	3.8	4.8	1.5	—				
平均事故件数×2					—	—	—	—	—	—	8.0	1.0	5.7	—	—	12.3	4.3	8.9	7.6	9.5	3.0	—				
1 神奈川県 国道 467 南鎌沢	1806.9	41	●	●	314	0	235	●	●	314	235	470	353	392	0	代表50箇所抽出										
2 神奈川県 国道 467 郵便局前	1371.7	35	●		118	0	118	●	●	392	78	588	510	274	0	代表50箇所抽出										
3 横浜市 地主(県) 22 立場	1339.9	51	●		210	131	158			263	105	420	79	342	210	対策済み										
4 神奈川県 地主(県) 26 衣笠十字路	1033.3	31	●		133	0	33	●		200	67	100	100	400	0	対策済み										
5 横浜国道 国道 16 東川島町西	917.2	34	●		27	27	27			297	135	27	108	216	135	代表50箇所抽出										
6 横浜国道 国道 246 水引	798.6	17	●		0	0	0			329	0	188	376	94	0	代表50箇所抽出										
7 横浜市 地主(県) 23 笠間	723.6	21	●		103	0	69	●	●	138	34	69	69	310	103	対策済み										
8 横浜国道 国道 1 一里塚	630.9	26	●		97	24	49	●		49	97	194	218	146	73	対策済み										
9 相武国道 国道 16 菊野森	606.3	52	●		23	12	0			245	0	128	70	128	47	対策済み										
10 相武国道 国道 16 相模大野駅南口入口	593.8	55	●		11	0	0			270	43	43	32	32	22	対策済み										
11 横浜国道 国道 246 厚木市立病院前	346.3	38	●		9	0	0			228	9	46	27	64	36	対策済み										
12 横浜国道 国道 1 十間坂	303.9	11	●		28	0	28			28	0	55	28	138	55	対策済み										
13 横浜国道 国道 246 文化会館前	204.3	22	●		9	0	9	●	●	111	0	0	28	37	0	対策済み										
14 相武国道 国道 16 横本五差路	118.3	8	●		0	0	0			89	0	15	15	0	30	対策済み										
15 神奈川県 地主(県) 32 手広	事故率	583.9	19	●		92	0	92	●		123	92	246	123	123	0	抽出候補②:二輪車、自転車の事故率・件数が代表箇所の平均以上 左折事故件数も代表箇所の平均以上 ただし、事故件数は代表箇所の平均以下									
16 横浜国道 国道 16 屏風ヶ浦	事故率	316.3	22	●		72	0	72	●		101	58	29	43	58	29	抽出候補③:高齢者事故件数は代表箇所の平均以上であるが、 その他、突出した事故類型なし									
17 横浜国道 国道 246 切通し	事故率	131.6	25	●		11	5	0	●	●	105	5	5	11	0	0	抽出候補①:事故件数が平均以上で、追突事故件数が代表箇所の平均以上 ただし、追突事故率は代表箇所の平均以下									
18 神奈川県 県道 302 山崎跨線橋北	491.9	7	●		141	0	141	●		141	0	0	0	211	0	事故件数が少ない(16件未満)ことから、抽出候補から除外										
19 相模原市 地主(県) 57 上溝中坂下	370.1	8	●		93	0	0			93	46	93	46	0	0	事故件数が少ない(16件未満)ことから、抽出候補から除外										
20 横浜市 県道 401 阿久和	351.3	6	●		59	0	59			117	59	59	0	59	59	事故件数が少ない(16件未満)ことから、抽出候補から除外										
21 横浜市 地主(県) 22 矢沢	231.8	9	●		26	0	0			103	77	26	0	52	0	事故件数が少ない(16件未満)ことから、抽出候補から除外										
22 横浜国道 国道 246 沼代	173.0	7	●		25	0	25	●		99	25	0	0	25	0	事故件数が少ない(16件未満)ことから、抽出候補から除外										
23 横浜国道 国道 357 幸浦2丁目	82.5	6	●		14	0	14			14	0	41	14	41	14	事故件数が少ない(16件未満)ことから、抽出候補から除外										

- A** :亡くなられる方が多い重大な事故
- B** :子供が被害に遭う事故
- C** :歩行者が関連する事故
- D** :通学路として利用されている道路
- E** :歩行者交通量の多い道路(あんしん歩行エリア)
- a** :車同士の事故(追突事故)
- b** :二輪車が関連する事故
- c** :自転車が関連する事故
- d** :車同士の事故(左折事故)
- e** :車同士の事故(右折事故)
- f** :高齢者が被害に遭う事故
- :「対策済み箇所」または「代表50箇所抽出」
- :抽出候補箇所
- :事故件数が少ないことから、抽出候補から除外
- :事故率が代表50箇所の平均を上回っている箇所
- :事故件数が代表50箇所の平均を上回っている箇所
- :事故件数が代表50箇所の平均を大きく上回っている箇所

●NO.15／ヒヤリハット箇所（1）

主要地方道32号(手広交差点)



ヒヤリ・ハットした場所／内容		年代	性別	住居地域	免許	利用手段	利用目的
手広	鎌倉市手広	65才以上	男性	鎌倉市	自動車類	自動車	業務
手広	鎌倉市	65才以上	女性	鎌倉市	自動車類	バス・タクシー	私用

死傷事故率:583.9件/億台km
死傷事故件数:19件



●NO.16／ヒヤリハット箇所（2）

■ 国道16号(屏風ヶ浦交差点)



ヒヤリ・ハットした場所／内容			年代	性別	住居地域	免許	利用手段	利用目的
屏風ヶ浦	横浜市磯子区	3箇所くらい行く方向があつて、ワインカーを出さない車の意思が分からず怖かった	65才以上	女性	横浜市	自動車類	自動車	
屏風ヶ浦	横浜市磯子区森	右折車の巻き込み	50代	女性	横浜市	自動車類	歩行	通勤・通学

○ヒヤリハット内容:
右折時の巻き込み

○事務局考察:右折事故4件

交差点が大きく、右折レーンマークが明確でないため、走行しにくいのではないか

一般部
4車線

国道16号
横浜方面



●NO.17／追加すべき箇所（1）

■ 国道246号(切通し交差点)



●NO.17／追加すべき箇所（1）

■ 国道246号(切通し交差点)

